年 報

報

平成30年度

島県立図

徳

館

徳島県立図書館

まえがき

少子高齢化が進み、人々の価値観が多様化する中、県立図書館は県下の中核図書館として、幅 広い分野の図書や資料を収集し、県民の皆様の様々な知的欲求や調査・研究に応じることができ るよう取り組んでいます。

当館は、大正6年6月24日に大正天皇即位記念「徳島県立光慶図書館」として徳島中央公園の中に開館されて以来、戦前戦後にわたり、阿波国文庫、モラエス文庫をはじめとする貴重な資料を収集するとともに先進的な図書館活動、幅広い文化活動によって多くの業績をあげてまいりました。

現在では、蔵書数約167万冊、年間貸出数約62万冊と、いずれも全国有数の規模を誇る郷土文化の拠点であり、昨年度、開館百周年という大きな節目を迎えました。

これを受け、百年を振り返ることはもとより、新たな百年に向け「一歩先の未来の図書館」として、「読書習慣を育む子どもの図書館」、「デジタル技術を活用した知的探求を応援する図書館」、「市町村立・学校図書館をしっかりサポートする図書館」、「専門性の強化」を目指して、様々な百周年記念事業を実施して参りました。

図書館ギャラリーでは、「なつかしの図書館写真展」を皮切りに、「本で見る徳島の 100 年展」、「図書館百年ものがたり原画展」や「ベストセラー 100 年展」などを実施しました。また、郷土関係の絵図・古地図デジタルデータをデジタルアーカイブシステム ADEAC に掲載する「とくしまデジタルアーカイブ」の構築、子どもさんへの愛情のこもった成長記録としていただくための「子ども読書手帳」や、これまでの 100 年の歴史をできるだけ正確に綴り、後世に長く残す記録として記念誌『県立図書館百年史』などの発行も行いました。

さらには、平成29年11月5日には、記念式典・記念講演会を開催し、瀬戸内寂聴さんから県立図書館への思いが込められたビデオメッセージが届けられ、電子書籍を幅広く取り扱う株式会社メディアドゥホールディングスの藤田恭嗣社長には、「電子書籍が切り拓く未来」と題して講演をいただきました。

このような取り組みにより、図書館の役割や人生を豊かにする上での読書の有用性などを広く 県民の皆様に知っていただくことができたと考えております。

今年度はこれらの活動を引き続き行いつつ、徳島県の図書館ネットワークの中核として、県全体の図書館サービスの向上に努めて参りたい考えておりますので、本冊子をご一読いただきまして、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 6 月

徳島県立図書館長 町田豊治

Ι	運	営の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
		平成30年度重点事業	1
II	平	成 30 年度事業計画	2
		平成 30 年度図書館予算 (当初) の状況	
		徳島県立図書館資料収集方針	
		徳島県立図書館資料収集・選定運用基準	
${ m III}$	平	成 29 年度事業報告 ······1	4
]	_	企画振興課関係	4
2	2	調査相談課関係	5
3	}	資料課関係	7
4	Į.	図書館システム関係業務1	9
Ę		他機関との連携事業ほか	9
(;	諸統計······	4
IV	管	·理···································	6
]	-	組織機構・職員	6
2	2	施設・設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
3	3	沿革	28
4	Ļ	歴代館長	9
V	平	成 29 年度行事記録	0
古目	計	実施事業	5
ЦΉ	11 T-		J
デー	- タ	で見る徳島県立図書館の現状	0
徳島	島県	立図書館サービス向上目標(第3期)数値目標4	1
徳 貞	引耳	.内市町村立図書館一覧················4	2
心心	ᇬ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	□
徳島	島県	.立図書館案内図	3
開食	言時	間・休館日	:3

I 運営の基本方針

(1) 図書館法とユネスコ公共図書館宣言の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。

また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。

(2) 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。

また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。

- (3) 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。 また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の 充実と子どもの読書環境の向上に努める。
- (4) 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。
- (5) 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。
- (6) 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興 に寄与する。

平成30年度重点事業

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に的確に対応し、県全体としての図書館サービスの向上を図るため、行動指針「一人でも多くの人へ"図書館サービス"の提供を」のもと事業を進め、新たな100年に向けて一歩先の図書館を見据えた「知の拠点」事業を推進する。

(1) 図書館「知の拠点」事業の実施

「読書習慣をはぐくむ子どもの図書館」「デジタル機器も活用した知的探究を応援する図書館」「市町村立・学校図書館をしっかりサポートする図書館」「専門性の強化」を目指す。

- (2) 県の中核図書館としての図書館資料の収集・整備
 - ・県内外の図書館・関係機関との連携機能の強化
 - ・子どもの読書活動の推進、子どもの本の資料センター的機能の充実
 - ・徳島に関する幅広い資料の収集・充実、地域資料のデジタル化
 - ・電子書籍閲覧サービスの構築
- (3) 県民のさまざまなニーズや課題解決の支援
 - ・知のバリアフリー実現に必要な資料や機器、サービスの整備・充実
 - ・子育て支援、行政支援、医療・健康情報等の収集・提供
 - ・地域振興や起業、就労に役立つ資料の充実

Ⅱ 平成30年度事業計画

区分	事 業 名	趣旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
	徳島県立図 書館協議会	館長の諮問機関として、県 立図書館運営の基本的事項 を審議する。	協議会委員	年 1 回	諮問事項の審議等。
	徳島県公共 図書館協議 会	県内公共図書館の連絡協調 を図る。	県内公共 図書館	理事会 5 月中旬、 研修会年 3回	活動状況の意見交換や相 互協力について検討す る。職員の研修会、図書 館大会を開催する。
企画	徳島県読書 振興協議会	県内読書推進機関の連携協 力を図る。	市町村読 書振興協 議会 他	年 間	読書振興大会を開催する ための援助等を行う。
振興課	協力車の運 行	県内図書館間協力のため、協力車等により資料の貸出、県内図書館間の相互貸借等を行う。	市町村立 図書館・ 図書館未 設置町教 育委員会	毎週	市町村立図書館・図書館 未設置町教育委員会から の貸出希望に応じる。
	相談業務	図書館や類似施設等に、相談・助言を行う。	県内公共 図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交 換等を行う。
企画	団体貸出	職場の団体やグループ・学校・施設などに対して、資料を一括して貸し出す。	職場・団 体・学校 等	年 間	来館して直接選択しても らい、一括貸し出しをす る。
振興	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を1セット5~10冊編成で貸し出す。	図 書 館、 読書グル ープ	年 間	貸出期間2カ月。図書館を通しての貸し出しも行う。
担当	町立図書館の設置促進	すべての町に図書館が設置 されるよう推進する。	図書館 未設置町	年 間	自治体の理事者・教育委 員会に対して、その重要 性を呼びかける。
	学校図書館 への協力貸 出	学校図書館からの貸出希望 に応じて資料の貸出を行 う。学校における図書館活 動の活性化に協力する。	県内高等 学校及び 特別支援 学校	年 間	希望校が、最寄りの市町 村図書館で資料を受け取 れるよう、県立図書館か ら協力車等で運ぶ。
	総合学術調 査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて学 術調査及び研究を行い、文 化の推進及び地域貢献に寄 与する。	鳴門市	5月調査	16 学会約 100 名の専門 家によって、それぞれの 分野で集中的に調査を行 う。

区分	事 業 名	趣旨	対 象	時期	方 法 (内 容)
	逐次刊行物 の選択・収 集・整理	最新の知識情報が得られる 定期·不定期刊行物 (新聞・ 雑誌、年鑑、年刊、統計書、 白書、政府刊行物、官報等) を選択・収集し、整理する。	一般	年 間	逐次刊行物は継続的に収 集し、保存のため年次別 に整備する。
	逐次刊行物 の閲覧と貸 出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸 し出しや一部CD-ROM による閲覧により、利用者 の要求に応じる。	一般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
●	複写サービス	著作権法にのっとり、複写 サービスの適正な運用につ とめる。	一般	年 間	館内利用者及び県内外からの複写申し込みに応じる。
調相。	雑誌スポン サー制度	雑誌スポンサーを募集し、 ブラウジングコーナーの充 実をはかる。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入 費を負担してもらう。最 新号カバー等にスポン サー名を表示する。
課	参考図書の 収集と整理	各分野の調査・相談に必要 な参考図書の収集、整備に 努め、利用に供する。	一般図書館	年 間	新刊情報誌等により、選 書、収集する。
部	電子書籍閲 覧サービス	課題解決に役立つ電子書籍 を提供する。	一般図書館	年 間	館内端末とインターネッ トで個人に提供する。
査	特別集書の 収集と貸出	「橋と川」に関する資料を 収集し貸出する。	一般図書館	年 間	「橋と川」に関する資料 を収集する。
担当	データベー スの提供	オンラインデータベースを 活用し、高度な調査研究に 応える。	一般	年 間	契約データベースの閲覧 専用端末を設置。可能な ものはプリントアウトに 応じる。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書 館等から寄せられる調査研 究の質問に対して必要な資 料や情報を提供する。	一般図書館県機関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・ 電子メールによるレファ レンスに対し回答する。
	総合目録 ネットワークと相互貸借	国会図書館、全国の公共図 書館とのネットワークに参 加する。相互貸借により利 用者の資料要求に応える。	一般図書館	年 間	総合目録ネットワークシステムへ蔵書目録データを提供する。県外図書館から資料を借り受け、利用者へ提供する。
	レファレン スツールの 作成	レファレンスの事例をデー ターベース化し、検索ツー ルとして役立てる。	一般図書館	年 間	レファレンスの回答記録 から選定したものなどを データ入力する。また、 公開にも努める。

区分	事 業 名	趣旨	対 象	時期	方 法 (内 容)
(調査担	検索コーナ ーの管理・ 運営	来館者の自主的な調査研究を援助する。	— 般	年 間	利用者用検索端末・デジ タル画像閲覧端末を設置 し、各種コンテンツを提 供する。
当)	インターネ ット端末の 一般開放	調査研究や知的創造などに 欠かせない電子文献の収集 を援助・促進する。	一般	年 間	インターネットが閲覧で きる端末を設置し、Web 情報の利用に供する。
	郷土資料の 充実と整理	郷土に関する資料要求に応 えるため、郷土に関する資料の収集・整理に努める。	一般	年 間	特色のあるコレクション として一般蔵書と区別し て保存し、利用に供する。
調	地方行政資料の収集と 整理	国、県、市町村への働きかけを強めて、官公庁出版物と地方行政資料の収集整理に努める。Web版資料についても収集に努める。	一般	年間	県、市町村及び国の出先 機関等に資料の提供を呼 びかける。Web 版資料 の電磁的記録と利用に関 する許諾を求める。
相談	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書 館等から寄せられる調査研 究の質問に対して必要な資 料や情報を提供する。	一般質素館県機関	年 間	電 話・口 頭・文 書・ FAX・電子メールによる レファレンスに対し回答 する。
課(資料の複写	デジタル化された新聞、郷 土資料等の複写サービスを 行う。	一般	年 間	デジタルライブラリ画像 閲覧システムによる複写 を行う。
郷土担当	資料のマイ クロフィル ム化・デジ タル化	調査研究資料として増大する新聞情報、貴重資料を、マイクロフィルム化・デジタル化して整理保存、利用者に提供する。	— 般	年 間	現在、収集保存している 全国紙地方面を引き続き マイクロフィルム化し、 利用に供する。また、貴 重資料等のデジタル化に 努める。
\bigcup	図書の展示	テーマにそった郷土資料の 展示を行い、関心を高め利 用を促進する。	一 般	年 間	郷土資料の展示を行い、 展示資料リストを作成す る。
	郷土用レフ ァレンスツ ールの作成	郷土の事項や人物に関する レファレンス事例データ ベースを作成し、検索ツー ルとして役立てる。	一般図書館	年 間	レファレンス回答記録から ま定したものなどを データ入力する。また、 公開にも努める。

区分	事 業 名	趣	対 象	時期	方 法 (内 容)
	資料の収集 と整理	一般貸出資料の選択·収集· 整理を行う。	一般	年 間	新刊情報により選書し、 発注、受け入れを行う。
資	資料の配架 と保存	開架図書の利用を促進し、 書庫内資料の速やかな出納 を容易にする。	一般	年 間	オープンスペースと書庫 の資料を適正に配列す る。
料	予約 (リク エスト) 制 度	利用者の希望する資料の予 約を受け提供する。	一般	年 間	来館・電話・インター ネットで予約を受け処理 する。
課	視聴覚資料 の収集と整 理	CDの収集・整理を行う。	一般	年 間	CDブックを収集し、貸 し出しする。(音楽CD は寄贈のみ収集)
介資	障がい者及 び高齢者用 資料の収集 と整理	障がい者や高齢者のための 資料を収集する。	障がい者 高齢者	年 間	大活字本やDAISYを 収集・整理し、貸し出し を行う。また、据置型・ 携帯型拡大読書器、活字 自動読み上げ機、プレク ストークを設置してい る。
	対面朗読	目の不自由な方に、資料を朗読する。	目の不自 由な方等	年 間	来館のうえ、対面朗読協 力者が朗読する。
料	郵送貸出	障がいのため、来館が困難 な利用者に、郵送による貸 し出しを行う。	障がい者	年 間	電話、文書等で申し込み を受け付け、図書館資料 を郵送する。
担 担 当	督 促	期限を過ぎても返却しない 利用者に対して督促通知を 行い、資料の効率的運用を 図る。	一般	年 間	郵便と電話により、通知を行う。
	ベストセラー寄贈事業	予約者が多いベストセラー 本の寄贈をお願いし、予約 待ち期間の短縮を図る。	一般	年 間	図書館ホームページや館 内にリストを掲示し、寄 贈していただく。
	貸出、利用 者登録	資料の貸し出しと貸出利用 者登録を行う。	一 般	年 間	貸し出しは、県内在住者、 在勤者、在学者に対して 10冊 22日間。(貸出日 を含む)。

課	事 業 名	趣	対 象	時期	方 法 (内 容)
	図書の展示	テーマにそった一般貸出資 料の展示を行い、関心を高 め利用を促進する。	一般	年 間	それぞれの時期にテーマ にそった図書を集めて展 示する。
	資料の収集 と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話 CDなどを収集整理する。	0 歳 ~ 高校生、 一般	年 間	新刊情報により選書し、 発注、受け入れ、保存を 行う。
資	予約 (リク エスト) 制 度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	0 歳 ~ 高校生、 一般	年 間	来館、電話、インター ネットで予約を受け処理 する。
料課	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの 読書関係者 (機関)、市町 村立図書館等からの質問に 対して必要な資料や情報を 提供する。	0 歳 ~ 高校生、 一般、図 書館、関 係機関	年 間	電話・口頭・文書・FA X・電子メールによる質 問に応じる。
	学校図書館 との連携推 進	学校図書館担当職員の相 談・要望に応えることによ り、学校図書館との連携を 進める。	特別支援 学校図書 館 他	年 間	要望のある県立学校図書 館を訪問して説明や相談 に応じる。
児童	子どもの読 書に関する 研修会	公共図書館職員、読み聞か せボランティア、子どもの 読書活動推進関係者など が、子どもの読書のすすめ 方について研修を行う機会 を提供する。	子どもの 読書活動 推進関係 者、図書 館	年 間	研修会を開催する。
担担	おはなし会	絵本の読み聞かせなどに よって、乳幼児・児童に読 書の楽しさを味わってもら う。	乳幼児 児童	月 3 回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどを行う。 (月2回はボランティアによる)
	こどもの本 コーナーだ よりの発行	児童書、子どもの読書関連 行事等を紹介すると共に、 こどもの本コーナーの広報 をする。	0 歳 ~ 中学生、 一般	月 1 回	ホームページ「こどもの 本コーナー」にも掲載す る。
	図書の展示	テーマにそった児童書の展 示を行い関心を高め、子ど もの読書活動を推進する。	0 歳 ~ 中学生、 一般	年 間	それぞれの時期にテーマ にそった図書を集めて展 示する。
その他	と く し ま ネットワー ク図書館シ ステム等の 管理運営	コンピュータ委員会を中心に、「とくしまネットワーク図書館システム」、図書館ホームページなどの管理運営を行う。		年 間	マーク登録、蔵書点検作業、ホームページの更新作業などを行う。

平成30年度図書館費予算(当初)の状況

(単位:千円)

事 項 名	平成30年度 予算額(当初)	備 考		
図書館管理運営費	46,932	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費		
県立図書館 「知の拠点」事業	44,475	一般図書購入費 子どもの本充実費 児童図書購入費 デジタルアーカイブ運営事業 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費		
館内奉仕運営費	422	館内サービス提供諸経費		
コンピュータ管理運営費	4,102	コンピュータ関係経費 (第6·7期図書館システム修繕関連経費を除く。)		
郷土資料調査収集研究費	831	総合学術調査経費 郷土資料収集費		
読書活動推進費	1,802	協力車巡回諸経費等 読書振興大会補助金		
<u> </u>	98,564			

徳島県立図書館資料収集方針

Ⅰ 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」(日本図書館協会採択 1979 年改訂) の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委 員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な 図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

Ⅱ 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

Ⅲ 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
 - (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
 - (2) 書込を目的として編集されたもの。
 - (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー(人権)を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

IV 個別基準

<郷土資料の収集>

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域(淡路を含む~近世)とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に関係しているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
 - (1) 郷土地域について書かれたもの
 - (2) 郷土の人物について書かれたもの
 - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
 - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、貸出用を収集する。

<参考資料の収集>

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

 1 辞典
 7 年表

 2 百科事典
 8 地図帳

3 専門辞典 9 書 誌

4 人名(伝記)事典、地名事典 10 索 引

5 便 覧 (ハンドブック) 11 抄 録

6 図 鑑 12 統計書

<児童資料の収集>

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

<視聴覚資料の収集>

- 1 市販されている録音図書(カセット、CD等)、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。
- <新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集>
- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準(昭和63年4月1日制定)」 によるものとする。

<マイクロフィルムの収集>

徳島県に関連するものを収集する。

<特別集書の収集>

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で 収集する。

VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

Ⅵ その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

【 趣 旨 】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、徳島県立図書館資料収集方針に基づき定めるものとする。

1 一般資料

(共通基準)

- 1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
- 2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
- 3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
- 4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
- 5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
- 6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
- 7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料を収集する。
- 8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
- 9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
- 10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
- 11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
- 12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
- 13 大活字本は積極的に収集する。
- 14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
- 15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に耐えうる資料を収集する。
- 16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの 限りではない。
- 17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
- 18. 劣情をそそる資料については収集しない。

(分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

ア総記

- 1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
- 2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

イ 哲学・宗教

- 1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・系統的に収集する。
- 2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
- 3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

ウ 歴史・地理

- 1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
- 2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。
- 3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。

- 4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
- 5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
- 6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

工 社会科学

- 1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
- 2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
- 3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
- 4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
- 5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
- 6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

オ 自然科学

- 1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
- 2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
- 3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の本なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して 収集する。

カ 技術・工学

- 1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
- 2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
- 3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

キ産業

- 1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
- 2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
- 3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

ク 芸術

- 1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
- 2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
- 3. コミック漫画は、収集しない。但し、学習漫画は別途に判断する。
- 4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
- 5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
- 6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
- 7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
- 8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

ケ 言語

- 1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
- 2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
- 3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。但し、 試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

コ 文学

- 1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
- 2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く選ぶ。 著名な文学作品やその関係書については、精選する。
- 3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを選ぶ。
- 4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を選ぶ。
- 5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く選ぶ。

2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

1. 雑誌

- (1) 情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。
- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

2. 新聞

(1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては 体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4) 継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる(改訂される)資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2) 農業利水、農業用水(614.3) は原則として除く。

5 郷土資料

1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。

- (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
- (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
- (3) 個人著者等が徳島出身の資料
- (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
- (5) 県内自治体、関係機関が発行する地方行政資料
- (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌 広報、リーフレット
- (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内
- (8) 徳島で発行される同人雑誌
- (9) 徳島を舞台にした文芸作品
- (10) タウン誌、ミニコミ紙
- (11) 観光パンフレット、イベントちらし
- (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
- (13) 徳島の地図類
- (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの
- 2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。
- 3. 一般雑誌、多巻ものの一部(1巻)に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。
- 4. 保存用のほかに閲覧用・貸出用の収集に努める。

6 児童資料

- 1. 乳児から中高生など10代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。
 - (1) 児童図書
 - (2) 紙芝居
 - (3) ヤングアダルト向きの図書
 - (4) 児童対象の録音図書など(CD)
 - (5) 児童向きの逐次刊行物
- 2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する
 - (1) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
 - (2) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
 - (3) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。
- 3. 収集の制限

原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。

- (1) 形態
 - ・散逸しやすいもの
 - ・組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
 - ・著しく耐久性に欠けるもの
- (2) 内容
 - · 受験用参考書、問題集
 - ・商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの (ゲームの攻略本など)
 - ・戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
 - ・童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの(CD、カセット)

附則

この基準は、平成25年4月1日から施行する

Ⅲ 平成29年度事業報告

1 企画振興課 関係

図書館の維持管理及び職員の人事、服務に関する事務を執行したほか、文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

- (1) 企画関係業務
 - ① 図書館の維持管理
 - ② 各種統計調査、年報の発行
 - ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
 - ④ 徳島県立図書館協議会を1月12日に開催した。
- (2) 協力関係業務

協力車と配送による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借を行った。また、県内全公共図書館 と図書館未設置町教育委員会を訪問し、情報交換、相談・助言等を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸し出しを行った。また、各読書 振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

- ① 協力車と配送による援助・協力活動を行った。延べ巡回日数 230 日 延べ配送日数 68 日
 - (ア) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19 市町村

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 17.682 冊

(イ) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数 5町

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 1,662 冊

② 相談業務を実施した。

対象 市町村立図書館27館、図書館未設置町5町

③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 21 校 協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 2.918 冊

④ 県立病院と連携した貸出サービスを実施した。

利用病院数 1病院

貸出冊数 1.200 冊

⑤ 団体貸出の実施(職場・学校などの団体に対して貸し出しを行った。)

利用団体数 5 団体

貸出冊数 450 冊

⑥ 読書会文庫の貸出(1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。)

利用団体数 11 団体

貸出冊数 982 冊

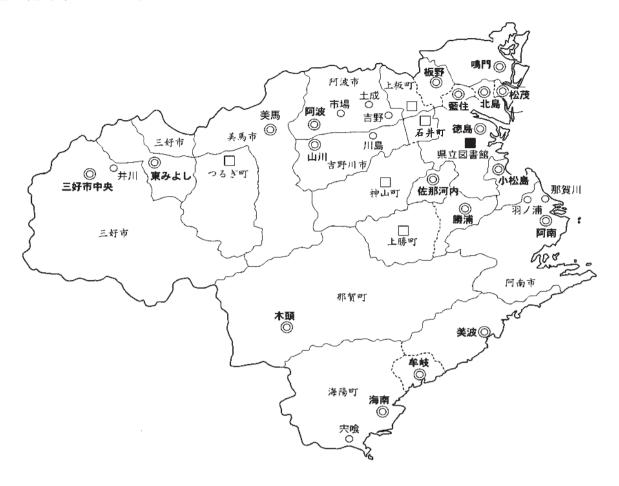
⑦ 「まなびの森」講演会(生涯学習支援事業)を放送大学徳島学習センターと連携し行った。

開催講演数 8講演

参加人数 407 名

- ⑧ 総合学術調査を三好市において、平成29年7月30日から8月8日まで実施した。
- ⑨ 実務担当者会を開催し、協力通信 No.243 ~ 249 を発行した。

■ 協力車の巡回状況 (平成22年4月1日から県内すべての市町村に巡回開始)



◎:協力車等巡回配送対象市町村立図書館(19館…自治体内の中心館に巡回)

□:協力車巡回配送対象教育委員会等図書館以外の施設

2 調查相談課 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県 民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相 互貸借、市町村立図書館への協力業務(レファレンス)を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料 の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

(1) 逐次刊行物関係業務

逐次刊行物は、324,165 冊を所蔵しており、ブラウジングコーナー・新聞雑誌コーナー等には、雑誌 504 タイトル(購入 286: うち 30 は雑誌スポンサー制度、寄贈 218)、新聞 51 種(購入 32、寄贈 19)、各種の年鑑、白書、統計等を配架して利用に供するとともに、一部を除き貸し出しも行った。

- ① 資料購入費(備品費) 2,003,522 円で、年鑑、白書等 232 点を購入した。
- ② 資料購入費(需用費) 5.156.932 円で、雑誌 3.556 冊、新聞 32 種、官報を購入した。
- ③ 寄贈資料は年鑑・年報・統計書類 396 冊、雑誌 2,740 冊、視聴覚資料 10 点を受け入れた。 寄贈新聞は 19 種であった。
- ④ 製本費 156,492 円で、官報 63 冊の製本を行った。
- ⑤ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、『徳島県内公共図書館購入雑誌・

目録・所蔵新聞目録 2017 年版』を作成するとともに、ホームページ上で「県内公共図書館購入雑誌一覧」を公開した。

- ⑥ 県立図書館応援事業として雑誌スポンサー事業を実施し、14団体より30誌の提供があった。
- ⑦ 雑誌のバックナンバーを用いたミニ展示をブラウジングコーナーで行った。
- ⑧ 電子コピー機による複写枚数は、51.739枚(白黒 49.104枚、カラー 2.635枚)であった。

(2) 参考資料関係業務

- ① 3,689,235 円で参考図書 337 冊、94,675 円で特別集書(橋と川に関する資料)を 35 冊購入した。 寄贈資料は、参考図書 226 冊、特別集書 3 冊であった。
- ② 100 周年事業として、電子書籍 197 冊、3,499,727 円を購入し、電子書籍閲覧サービスの試験 運用を開始した。
- ③ 参考資料数は 67,100 点であり、そのうち参考資料コーナーには 23,966 冊を開架した。特別 集書数は 6,735 冊で特別集書コーナーに 4,311 冊を開架した。
- ④ 参考質問件数は 10,606 件で、内訳は、レファレンス記録記載分 995 件(そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 77 件、県議会・行政機関からの参考質問は 19 件)、所蔵検索等の資料案内件数が 9.611 件であった。
- ⑤ 資料の探し方についての〈調べものナビ〉「調-3糖尿病」を改訂し、館内で配布した。
- ⑥ 資料の相互貸借は、他館からの借り受けが170件213冊、他館への貸し出しが686件1,102冊で、合計856件1,315冊であった。(協力車等による県内図書館への貸し出しは除く。)
- ⑦ DVD-ROM 版、CD-ROM 版のデータベース、国立国会図書館デジタル化資料を閲覧用端末3台で、「聞蔵」等のオンライン・データベースを端末2台で利用に供した。また、これらデータベースのプリントアウトサービスを行った。枚数は4,034枚(白黒3,897枚、カラー137枚)であった。
- ⑧ 利用者用インターネット端末2台の利用は156件であった。
- ⑨ 県立図書館の参考図書の新着案内を月1回「とくしまネットワーク図書館」に掲載し、ホームページで公開した。
- ⑩ 「働き方を見直そう」展をはじめ、ビジネス支援や健康応援に関するミニ展示を計6回行った。
- ① 県内企業支援団体の協力を得て、経営者向け研究会、講演会、相談会のちらしを収集し、〈しごと応援コーナー〉の一角に設置した。

(3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費(備品費) 1.263.225 円で、図書 575 冊、CD 6 枚を購入した。
- ② 209.520 円で新聞等のマイクロフィルム 4 巻と縮刷版 P D F 変換済データ 1 式を購入した。
- ③ 委託料 35.370 円で貴重資料 3 点のデジタル化を行った。
- ④ 資料購入費 (需用費) 89,878 円で、逐次刊行物 5 タイトル 108 冊と郷土新聞 1 タイトルを購入した。
- ⑤ 寄贈図書 585 冊、寄贈逐次刊行物 2,299 冊、その他の寄贈資料 12 点を受け入れた。
- ⑥ 製本費 198,828 円で、新聞等 5 タイトル 37 冊の製本を行った。また、62,208 円で 18 冊の修理製本を行った。
- ⑦ 「徳島新聞」等のマイクロフィルム・デジタル画像の閲覧 551 人、複写 4.614 枚であった。
- ⑧ 研究室 1:52 件 52 人、撮影室:10 件 10 人の利用があった。
- ⑨ 徳島新聞縮刷版PDFファイルをデジタル画像閲覧システムに登録し、館内専用パソコンで

利用に供した。

- ⑩ Web 上に公開されている地方行政資料を当館の電磁的記録媒体に記録・保存した。
- ① 郷土資料を探すためのヒントを与えるパスファインダー第1号から第9号の改訂を行い、館内配布した。
- ② 「春へんろ」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブースで計 11 回行った。また、徳島大学附属図書館との共催展示「第 27 回徳島大学附属図書館学術講演会 共催展示 100 年前の四国遍路」、徳島県教育会との共催展示「徳島県教育会創立 130 周年記念展示~『徳島教育』に見る教育」を開催した。

3 資料課 関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、障がい者、高齢者へのサービスを充実するため視聴覚資料の収集に努めるなど、県民全体への充実したサービスの向上を図った。

(1) 貸出関係業務

- ① 図書資料購入費 17,804,626 円で、一般資料コーナー用図書 8,820 冊 17,304,815 円 (大活字本を含む。)、視聴覚資料 82 点 499,811 円 (一般用 C D 55 タイトル、D A I S Y 27 タイトル)をそれぞれ購入し、整理した。
- ② 寄贈資料 783 冊を受け入れ、整理した。
- ③ 平成29年度末の一般資料数は743,455冊(視聴覚資料含む)である。一般資料コーナーに約20万5千冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。
- ④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数 6 諸統計(24ページ)参照
- (5) 一般資料のリクエスト (予約) は 16,346 件であった。
- ⑥ 障がい者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 781 冊、一般用視聴覚資料 262 点、DAISY 202 枚であった。閲覧室には、活字による読書が難しい人がデイジー図書を利用できる専用端末(プレクストーク)や、据置型拡大読書器を設置し、読書環境を整えている。また、卓上型対話支援システム(コミューン)をカウンターへ配置し、聞き取りやすさを補助して、利用者との円滑なコミュニケーションがはかれるようにしている。
- ⑦ AVコーナーでは、CDデッキ1台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしている。また、車椅子のまま利用できるCD・カセット用機器を設置している。
- ⑧ 「セカンドライフ応援コーナー」において、シニア世代に身近な課題をテーマに資料紹介、 ちらし・パンフレット等による情報提供を行った。
- ⑨ 県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、16冊の寄贈を受けた。
- ⑩ ミニ展示を、一般資料コーナー検索端末機横の展示スペースにおいて計 11 回行い、資料の利用促進を図った。

(2) 児童関係業務

① 資料購入費 6,144,134 円 (うち〈こどもの本充実〉枠 1,999,547 円) で、児童関係図書 3,725 冊、 洋書 4 冊、紙芝居 54 巻、C D 1 枚を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費は 273,249 円で、 新聞 4 紙、雑誌を 38 タイトル 378 冊を購入し、整理した。

- ② 寄贈資料として図書 380 冊、洋書 66 冊、マルチメディアデイジー 4 点、紙芝居 1 巻、雑誌 49 冊を受け入れ、整理した。
- ③ こどもの本コーナーに約50,000 冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約3,800 冊を開架図書として配置した。

コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。 また、子育てに関する図書約800冊と雑誌10誌、赤ちゃん絵本約300冊を集め、子育て関係機関等のパンフレットなども置いた、子育て支援図書コーナーの充実を図った。

- ④ 貸し出しとあわせて子どもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、なお一層のサービス向上を図るため、子どもの本、子どもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。
- ⑤ 児童関係資料のリクエスト (予約) は、4,370 件であった。
- ⑥ 学校図書館訪問相談を、特別支援学校10校 延べ6回行い、図書館業務に関する相談と県立図書館のサービスについての案内を行った。
- ⑦ 読み聞かせ団体等に対して、紙芝居舞台など読み聞かせ・おはなし会用の備品 151 点を貸し出した。
- ⑧ こどもの本コーナー紙芝居架上で、月ごとにテーマを決めて資料展示を行った。また、折に触れてミニ展示をのべ21回行った。
- ⑨ 子どもの読書に関する研修会・行事
 - ○「初めての方のための読み聞かせ講座」 6月11日 参加者:18名 講師:渡邉美恵(絵本専門士、徳島県立図書館おはなし会ボランティアスタッフ) 初めて子どもたちに読み聞かせをされる方、してみたいと思っている方対象に、絵本の読み聞かせ、絵本の持つ特徴などについての講義とワークショップを開催した。
 - ○県立図書館 100 周年記念企画 平成 29 年度子どもの読書研修会

「羽尻利門氏講演会 絵本に込める思い」

2月18日 参加者:40名

講師:羽尻利門(絵本画家)

徳島県阿南市在住の絵本画家、羽尻利門氏に講師を依頼し、自作の絵本の読み聞かせや、その制作の裏話、絵の中に隠された秘密などを話してもらった。また、参加者の要望もあり、手話通訳を手配した。なお、関連企画として、1階エントランスで「徳島県立図書館 100 周年記念企画 羽尻利門原画展『花まつりにいきたい』」を開催した(3月4日(日まで)。

○行事

赤ちゃんと楽しむおはなし会 (毎月第2木曜日) 年間 12 回 参加者: 延べ 269 名 おはなし会 (毎月第2・4日曜日) 年間 26 回 参加者: 延べ 476 名

赤ちゃんと楽しむおはなし会関連企画として、助産師さんによる子育てについてのアドバイス・相談の会「助産師さんとはなそう!」を毎奇数月に開催した。また県職員による夏休み出前講座「よごれた水のゆくえ」「まなぼうさい教室」、親子で楽しむクリスマスおはなし会、文化の森連携事業「図書館探検隊」「おはなし会」を開催した。

① 広報

『こどもの本コーナーりようあんない』を常備し、来館者に配布した。

また、毎月1回『こどもの本コーナーだより』を発行し、来館者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の県立図書館等に配布した。ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。

4 図書館システム関係業務

(1) 徳島県立図書館ホームページの運営

平成12年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、随時更新作業を行っている。

(2) コンピュータ委員会

各係より選出された7名でコンピュータ委員会を構成し、「とくしまネットワーク図書館」 システムの運用などについての検討・作業を行った。また、県立図書館ホームページ及び職員 端末用ネットワークシステムの更新・運用作業も行った。

(3) システム担当者会(随時)

文化の森 6 館の担当者の会議に出席。各館業務システム及び文化の森情報システムの更新作業を行った。また、更新についての検討、各館の情報交換などを行った。

(4) 「とくしまネットワーク図書館」システムの運用

平成29年2月に更新したとくしまネットワーク図書館システムの運用を行った。

5 他機関との連携事業ほか

- (1) 課題解決サービス
 - ○健康・医療情報の提供

徳島県看護協会主催の「まちの保健室」を平成20年9月末より図書館1階で月2回実施し、 平成29年度は418名が利用、41件の疾患や健康についての相談が寄せられた。

また、徳島県薬剤師会主催の「まちのお薬相談室」を平成28年6月より図書館1階で月2回実施し、平成29年度は106件の薬効や副作用についての相談が寄せられた。

平成26年11月より「健康応援コーナー」を設置し、関係団体の協力を受けて収集したチラシ、パンフレット類を配架している。

10月20日から11月19日には「全国糖尿病週間」にあわせて「ストップ!糖尿病」のミニ展示を行い、関係団体から提供を受けた啓発パンフレットを来館者に配布、11月21日から12月24日には、県保健福祉部医療政策課の臓器移植普及啓発の一環として「臓器移植普及啓発」のミニ展示を、平成30年3月6日から25日までは、県保健福祉部保健福祉政策課の自殺対策啓発活動事業(パネル展)にあわせて「自殺対策強化月間」のミニ展示を行った。

○しごと応援コーナーの充実

仕事に関する図書約800冊・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま(徳島県若年者就職サポートセンター)・ハローワーク徳島などと連携して、平成29年度は、223点の就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報などをも置き、情報提供を行った。さらに、県内企業の社史・会社案内の収集・提供も行い、関係機関との連携強化を図った。また、ビジネス支援として、県内企業支援団体の協力で、企業支援関係や経営者向けセミナー等のチラシ・パンフレット類を配架している。

○行政支援

県議会事務局の依頼により、テーマ展示の本や調査レポート用の資料を選んで提供した。

(2) 県立図書館県政情報テラス事業

平成23年11月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく 周知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置している。平成29年 度は、32件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する14件のチラシを配布した。

また、7月26日に県水・環境課の出前講座「よごれた水のゆくえ」を開催し、7月11日から26日まで3階ロビーでパネル展示を行った。

(3) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。 生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。(別表)

(4) 文化の森連携事業

文化の森全館で5月5日に「こどもの日フェスティバル」、8月20日に「文化の森サマーフェスティバル」、11月3日に「文化の森 大秋祭り」、2月11日に「文化の森ウィンターフェスティバル」を実施し、図書館では「おはなし会」「図書館探検隊」「大人のためのおはなし会」などを開催した。

(5) 大学図書館との連携

平成29年3月28日に締結した「国立大学法人徳島大学、国立大学法人鳴門教育大学、徳島県及び徳島県教育委員会による図書館活動に関する協定」に基づき、以下の事業が実施された。

- 1. 徳島県立図書館百周年記念事業への協力
 - ① 「百周年企画展示『なつかしの図書館写真展 -県立図書館の100年-』」が、7月4日から8月1日まで徳島大学附属図書館3階資料展示室で実施(徳島大学附属図書館蔵本分館内ではデジタルサイネージによる写真展として実施)、8月28日から10月6日まで鳴門教育大学附属図書館1階エントランスホールで実施された。
 - ② 県立図書館の書誌として所蔵している両大学関係資料の中で、デジタル化され、公開しているものを、許諾を得て、OPACで書誌とデジタルデータをリンクさせる作業が行われた。

(貴重資料高精細画像データ)

徳島大学附属図書館貴重資料高精細デジタルアーカイブ

(近世古文書書画像データ)

徳島大学附属図書館蜂須賀家家臣団家譜史料データベース 鳴門教育大学附属図書館後藤家文書画像データベース

- 2. 図書館職員の交流研修
 - ① 徳島県図書館職員研修会への徳島大学附属図書館・鳴門教育大学附属図書館から、第2回研修会 徳大より2名、第3回研修会 徳大より3名・鳴教大より1名の職員の参加があった。
 - ② 図書館職員の相互訪問研修の実施 7月6日徳島大学蔵本附属図書館分館で「医療関係レファレンスへの対応について」の 研修があり、2名の職員が参加した。
- 3. 徳島大学附属図書館の、学術講演会の実施への協力として、
 - ③ 10月20日開催の徳島大学教員による学術講演会「100年前の四国遍路」を徳島市立図 書館と共に共催、講演会で目録を配布した。
 - ④ 共催展示として、県立図書館2階ブラウジングコーナー及び郷土資料コーナーで、10

月12日から11月19日まで「第27回徳島大学附属図書館学術講演会共催展示 100年前の四国遍路」のミニ展示を開催した。

4. 平成28年8月から、鳴門教育大学附属図書館と徳島県立図書館による相互貸借を実施しており、29年度は、貸出110冊、借り受け16冊だった。

5. その他

各館の利用案内やイベントのチラシの配布や、各館のポスターの掲示、学術講演会の案内 を県下の市町村立図書館への送付等を行った。

◆平成29年度刊行物

① 平成 29 年度年報350 冊 (H29.6.1 発行)②こども読書手帳10,000 冊 (H29.7.7 発行)③ 図書館百年ものがたり 飯原一夫著600 冊 (H29.10.20 発行)④ 100 年たっても読みたい本ブックリスト3,000 冊 (H30.1.16 発行)⑤ 平成 30 年度図書館カレンダー30,000 枚 (H30.2.1 発行)⑥ 徳島県立図書館百年史450 冊 (H30.2.15 発行)

講師の派遣

期日	会 場	講座内容等	派遣職員	参加者
6月24日	県立図書館	海陽町読書友の会 県立図書館見学	町田豊治・宇山博子	12
7月5日	県立二十一世紀館	シルバー大学校大学院講義	水上英俊·田村加代· 松原美和	31
8月4日	鳴門市立図書館	著作権について	日髙 文	12
8月8日	県立図書館	四国大学生 見学 「図書館サービス概論」受講生	宇山博子・水上英俊	23
8月8日	徳島市応神小学校	徳島市・名東郡小学校図書館教育 部会(夏期研修会)	立石忠徳・小松真幸 吉本満里	37
8月17日 18日 22日	県立図書館	教職員初任者研修 「館内整理作業・レファレンス業 務・調べ学習の実習」	小松真幸·中本好彦 今井順子·田村加代 髙橋律子·立石忠徳	4
8月22日	県立図書館	徳島県高等学校図書委員研修会	宇山博子・立石忠徳・ 桂敦子	73
10月4日	徳島県立障がい者 交流プラザ	点訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	今井順子	24
11月28日	徳島県立障がい者 交流プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	鎌田梨奈	18
12月19日	城南高校	第3回読書会・講習会 「図書館と司書について」	立石忠徳	13
12月27日	県立図書館	あわっ子文化大使 「図書館司書体験」	水上英俊・山本みち 田村加代・松原美和	14
3月2日	鳴門市立図書館	パスファインダーについて	松原美和	22

インターンシップ

	学 校 名	日 時	参加者	内容
1	県庁インターンシップ(大学生対象)	9月5日~8日	2	・とくしまネットワーク図書館システムの 説明実習・協力貸出実習・児童カウンター実習・書架整理等
2	小松島高等学校	11月14日~15日	2	・児童サービス、レファレンスサービス ・企画振興担当業務の説明・実習 ・図書の受入、整理 ・郷土コーナーの説明、広報紙等納本チェ ック、資料受入等

学校教育との連携 - 学校の授業・遠足・見学等による図書館利用 -

	学 校 名	日時	内 容	参加者
1	上八万小学校 2年	5月12日	見学・おはなし会・自由閲覧	50
2	川内北小学校 2年	5月26日	見学・おはなし会・自由閲覧	100
3	八万南小学校 2年	10月11日	見学・おはなし会・自由閲覧	86
4	津田小学校 2年	10月26日	見学・おはなし会・自由閲覧・質問	99
5	生光小学校	10月31日	見学・おはなし会・自由閲覧・質問	26
6	助任小学校 2年	11月7日	見学・おはなし会・自由閲覧・質問	106
7	高原小学校 2年	12月15日	見学・おはなし会・質問コーナー	42
8	西麻植小学校 4、5年	10月21日	館内見学・おはなし会・自由閲覧	28
9	宮井小学校 2年	1月25日	見学・おはなし会・質問・自由閲覧	20
10	生比奈小学校 2年	2月27日	見学・おはなし会・自由閲覧	19
11	上八万幼稚園	2月28日	おはなし会・自由閲覧	30

参考:図書館資料充実費内訳(製本費等を除く)

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
0	調査相談課				
(1)	逐次刊行物	7,519,358	7,406,095	7,435,988	7,160,454
	資料購入 (備品費) 費用	2,299,742	2,241,236	2,290,693	2,003,522
	点数	239	264	244	232
	資料購入(需用費)費用	5,219,616	5,164,859	5,145,295	5,156,932
	雑誌種数	293	292	287	286
	新聞紙数	32	32	32	32
	官報	1	1	1	1
(2)	参考資料 (備品費)	2,553,970	3,365,040	3,546,504	3,783,910
	参考図書費用	2,512,518	3,273,379	3,424,596	3,689,235
	冊数	232	319	304	337
	特別集書費用	41,452	91,661	121,908	94,675
	冊数	12	25	31	35
(3)	郷土資料	1,730,116	1,539,544	1,449,906	1,353,103
	資料購入 (備品費) 費用	1,633,860	1,449,880	1,359,386	1,263,225
	図書冊数	599	592	691	575
	C D 等点数	11	15	16	6
	資料購入(需用費)費用	96,256	89,664	90,520	89,878
	雑誌種数	6	5	5	5
	新聞紙数	1	1	1	1
	資料課				
(1)	貸出用図書(備品費)	18,312,754	17,804,955	17,788,271	17,804,626
	一般資料図書購入費	17,900,286	17,292,568	17,252,578	17,304,815
	一 数	9,295	8,680	8,722	8,820
	視聴覚資料購入費	412,468	512,387	535,693	499,811
	点数	70	42	91	82
	団体貸出用購入費	_	1,854,778	1,846,023	1,841,396
	点数	_	164	204	289
(2)	児童関係資料	4,473,216	4,397,249	4,182,952	6,417,383
	資料購入(備品費)費用	4,199,668	4,138,859	3,924,562	6,144,134
	児童図書冊数	2,866	2,602	2,444	3,729
	紙芝居巻数	62	55	54	54
	CD等点数	0	1	0	1
	資料購入(需用費)費用	273,548	258,390	258,390	273,249
	雑誌種数	38	38	38	38
	新聞紙数	4	4	4	4
	図書資料購入費合計	34,589,414	36,367,661	36,249,644	38,360,872
	図書購入費(備品費)	28,999,994	30,854,748	30,755,439	32,840,813

6 諸統計

○現有図書資料(平成 30 年 3 月 31 日現在)

分類	区分	館内	館外	こども	計	前年度末現在
刀規						
0:総	記	119,490	2,229	7,150	128,869	126,489
1:哲	学	59,669	3,317	1,940	64,926	65,292
2:歴	史	116,775	6,403	7,141	130,319	129,641
3:社会	会科学	307,284	9,631	10,804	327,719	324,443
4:自2	然科学	101,133	6,329	13,966	121,428	121,033
5:技	術	133,145	4,339	5,746	143,230	141,698
6:産	業	82,143	2,103	2,653	86,899	85,708
7:芸	術	131,754	6,188	16,635	154,577	153,146
8:言	語	23,655	1,142	2,463	27,260	27,230
9:文	学	226,472	47,332	49,476	323,280	334,253
童	話	12	3,369	14,235	17,616	19,314
絵	本	121	3,248	70,536	73,905	74,451
₹ 0.	他	58,949	657	4,200	63,806	63,509
計 (₩)	1,360,602	96,287	206,945	1,663,834	1,666,207

○電子書籍(平成 30 年 3 月 31 日現在)

〈単位:冊〉

前年度末現在	年間購入冊数	合計冊数
0	197	197

○利用者登録者数

区分	
年間館内登録者数	3,291 人
29 年度末有効登録者数	*156,735 人
団 体 貸 出(団体)	5 団体
読書会文庫(団体)	11 団体

*貸出利用可能な登録者数を記載

○図書貸出冊数 (平成 29 年度)〈単位:冊〉

〈単位:冊〉

[区 分	册 数
	図書	535,822
	洋書	1,663
 個人貸出	視聴覚資料	18,319
個八貝山	逐次刊行物	39,370
	その他	3,939
	小 計	599,113
4九十代山	図書館・図書館未設置 町教育委員会	19,344
協力貸出 	県立学校	2,918
	小 計	22,262
	団体貸出	450
 団 体	県立病院貸出	1,200
	読書会文庫	982
	小 計	2,632
貸	出 総 数	622,046

○県外相互貸借(平成 29 年度)

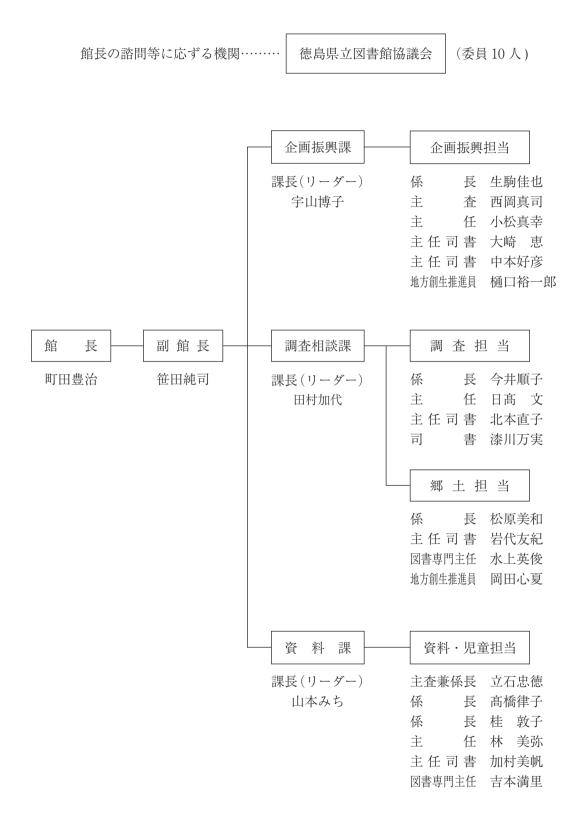
		四国内	四国外	国会図書館	その他	計
貸出	件数	343	339		4	686
貝山	冊数	638	459		5	1,102
借受	件数	69	84	12	5	170
旧文	冊数	86	104	16	7	213

○月別利用状況(平成29年度)

	開館	登 鋦	: 者	貸出利	川者	貸出	冊数	予約・リク	クエスト				考了	質問		
	日数 (日)	月計	日平均	月計	日平均	月計	日平均	月計	日平均	口頭	電話	文書	メール	資料 案内	月計	日平均
4月	25	261	10	15,214	515	52,653	2,106	1,980	79	52	28	1	11	765	857	34
5月	25	219	9	14,303	572	48,796	1,952	2,083	83	40	37	4	8	786	875	35
6月	25	270	11	14,526	581	49,338	1,974	1,896	76	67	29	0	13	960	1,069	43
7月	25	428	17	16,097	644	55,760	2,230	1,585	63	70	22	2	12	972	1,078	43
8月	27	503	19	17,296	641	60,282	2,233	2,019	75	59	32	4	11	1,065	1,171	43
9月	25	242	10	15,196	608	51,584	2,063	1,949	78	39	18	3	13	797	870	35
10月	25	240	10	14,665	587	49,125	1,965	1,965	79	34	31	3	10	758	836	33
11月	25	227	9	14,752	590	49,814	1,993	2,052	82	48	25	3	12	772	860	34
12月	23	227	10	13,515	588	46,659	2,029	1,947	85	30	32	3	9	694	768	33
1月	20	222	11	12,808	640	45,013	2,251	1,809	90	32	23	3	6	633	697	35
2月	17	190	11	10,927	643	38,400	2,259	1,689	99	22	14	1	8	606	651	38
3月	26	262	10	14,851	571	51,689	1,988	2,623	101	37	20	1	13	803	874	34
合計	288	3,291		174,150		599,113		23,597		530	311	28	126	9,611	10,606	
平均	24	274	11	14,513	605	49,926	2,080	1,966	82	44	26	2	11	801	884	37

Ⅳ管理

1 組織機構・職員(平成30年4月現在)



2 施設・設備

建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182㎡
- ◎ 延床面積 8,989.594㎡
- ◎ 構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

<施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積(m²)	用途・分類	面積 (m²)
 〈開架スペース>	[4,085]	<管理スペース>	[1,393]
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室(整理作業室)	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフラウンジ	60
カウンター	55	集会室 (大)	122
こどもの本コーナー	566	集会室(小)	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスヤード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
開架書架コーナー	355	更衣室(2)	22
マイクロリーダー室	27	湯沸室(2)	17
研究室	23	倉庫(2)	84
撮影室	17		
<u> </u>		<機械・設備スペース>	[693]
エントランスホール	204	機械室(5)	575
ロッカーコーナー	69	電気室	92
その他	389	ハロンガスボンベ室	26
〔収蔵スペース>	[1,843]	<その他>	[975]
館内書庫	1,434	1階エントランス	225
館外書庫	349	その他	750
貴重書庫	60		
* 書庫は積層式になって	いるため、実質		
3,626㎡ある。			

3 沿 革

年 月 日	事項
大正5年7月24日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光慶図書館と称する。
大正6年6月24日	開館式を挙行する。
昭和20年7月4日	戦災により焼失する。
昭和24年5月3日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と称する。
昭和25年3月13日	火災により焼失する。
昭和25年7月25日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、館外奉仕活動を始める。
昭和25年12月1日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。
昭和28年11月3日	館舎を再建し、館内奉仕活動を始める。
昭和30年4月1日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。
昭和37年3月18日	移動図書館車「やまなみ2号」を増車、やまなみ1号・2号となる。
昭和41年7月24日	創立 50 周年記念式典を挙行する。
昭和43年4月1日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立図書館規則が定められた。会
	計規則の一部改正により、憲法記念館から県立図書館に改名された。
昭和45年3月31日	徳島県立図書館規則が廃止され、徳島県立図書館管理規則が定められた。
昭和51年7月14日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ2号」を新設する。
昭和52年7月28日	創立 60 周年記念大会を挙行する。
昭和55年1月7日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建設を中核とした「文化の森」
	構想を発表する。
昭和57年3月23日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決定された。
昭和59年5月9日	図書館基本構想検討委員会が発足する。
昭和61年3月10日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。
昭和62年3月10日	文化の森各文化施設の実施設計が完了する。
昭和62年6月25日	創立 70 周年記念講演会を挙行する。
昭和62年7月14日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。
昭和63年2月1日	協力車「やまなみ」を新設する。(移動図書館事業の廃止による。)
平成元年10月31日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。
平成2年4月1日	文化の森図書館へ移転のため休館する。
平成2年11月3日	文化の森図書館として新築開館する。
平成7年10月17日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラーでみる戦後展」を開催する。
平成12年10月20日	文化の森開園 10 周年記念「世紀末大博覧会」を 5 館共同で開催する。図
	書館は、「海野十三の描いた未来」を担当する。
平成17年10月22日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見 - 15 の人・もの・場所」
	を5館共同で開催する。図書館は、「岡本韋庵」の展示等を担当する。
平成22年2月16日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成する。
平成22年11月23日	文化の森開園 20 周年記念展「軌跡」と記念行事「文化の森大秋祭り!」
	を5館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワークショップ等を担当する。
平成23年4月1日	貸出カウンターの業務委託を行う。
平成27年9月18日	文化の森開園 25 周年記念事業を「ヒトガタをめぐる冒険」を 6 館共通テー
	マとして実施。図書館は企画展「ひとが想い描いたヒト」、「アニメその歴史
	と未来」展を開催する。
平成29年11月5日	創立 100 周年記念式典・講演会を挙行する。
平成30年4月23日	子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受賞する。

4 歴代館長

就任年月日	館	長	館 長 事 務 取 扱
大正 5 年 7 月 26 日 大正 5 年 11 月 6 日 大正 6 年 3 月 31 日 大正 6 年 10 月 10 日 大正 10 年 3 月 14 日	旦 海	毎 少 	県 内 務 部 長 広 瀬 直 幹 県 内 務 部 長 亀 井 光 政 県 学 務 課 長 林 恒四郎 県 学 務 課 長 確 野 千太郎 司 書 岩 瀬 亀之進
大正10年3月31日 大正13年12月6日 大正13年12月20日 大正14年1月9日 大正15年8月26日	岩瀬	亀 之 進	県 学 務 課 長 鈴 木 省 吾 県 内 務 部 長 小 島 庄 吉 県 学 務 課 長 松 本 三 郎 県社会教育主事 栖 崎 善 一
昭和2年2月14日 昭和13年9月22日 昭和19年3月22日 昭和19年4月25日	坂 本	章 三 好 太	県青少年教育課 三 好 菊 夫 県青年教育課長 沖 田 武 雄
□田昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭	大岡原蒲藤上竹喜高石近岩岸芝山日中武米大小福松今桐早谷島田池居原田田井堂藤佐 下野川市澤平田島平﨑本見	幹幹武正信浩俊泰静廣俊健 正博精 靖明隆啓 義憲男雄夫夫雄一一臣雄光夫二司裕之二巖正二宏昭治清聰春一	宗 百 千 教 目 訴 校 一 伊 一 田 一 政 一 雄
平成19年4月1日 平成19年5月1日 平成20年4月1日 平成21年4月1日	桑 村 上 野 中 井	誠 秀 樹 忠 良	近代美術館長 阿 部 修 三
平成22年4月1日平成24年4月1日平成25年4月1日平成27年4月1日	林青木成	善章 志 行 学	二十一世紀館長 中 瀬 敬 一
平成27年5月1日 平成28年4月1日 平成29年4月1日	模 納 松 浦 町 田	正 明 博 豊 治	

V 平成29年度行事記録

1 集会行事

5月5日 こどもの日のおはなし会 (文化の幕とどもの日フェスティバル) 児童担当 絵本の読み聞かせなど 42 5月12日 徳島県公共図青館協議会理事会 評議員会 理事 28年度事業報告・決算、29年度事業計画・予算、29年度事業計画・予算、29年度事業計画・予算、29年度等計画・予算、20年後報報会 20年度事業計画・予算、20年度決算、29年度判等術調査について、25月10年 のいて、25月10年のいて、25月10年のいて、25月10年のいて、25月10年のいて、25月10年のいて、25日10年のいて、25日10年のいて、25日10年のいて、25日10年のいて、25日10年のいて、25日10年のいて、25日10年の東施事業について、25日10年のより、25日10年のより、25日10年のより、25日10年のより、25日10年のより、25日10年の計画とより、25日10年の計画とより、25日10年の計画とより、25日10年の計画とより、25日10年の計画とより、25日10年の計画を表していて、25日10年の計画を表している。 26日10年のより、25日10年のより、25日10年のより、25日10年のより、25日10年のより、25日10年の計画を表している。 26日10年のより、25日10年のより、25日10年の計画を表している。 26日10年のより、25日10年の計画を表している。 25日10年のより、25日10年の計画を表している。 26日10年のより、25日10年の計画を表している。 25日10年のより、25日10年の計画を表している。 25日10年のより、25日10年の計画を表している。 25日10年のより、25日10年の計画を表している。 25日10年の計画を表しいる。 25日10年の計画を表しいる。 25日10年の計画を表しいる。 25日10年の計画を表しますのにより、25日10年の計画を表しいる。 25日10年の計画を表しいる。 25日10年の計画を表しいる。 </th <th>期日</th> <th>集会名</th> <th>講師・出席者等</th> <th>内容等</th> <th>人員</th>	期日	集会名	講師・出席者等	内容等	人員
(文化の森こともの日フェスティバル) 28 年度事業報告・決算、25 月12日 徳島県公共図書館協議会理事会 理事 28 年度事業報告・決算、25 年度事業計画・予算 25 年度事業計画・予算 25 年度事業計画・予算 25 年度事業計画・予算 25 年度事業計画・予算 26 年度 事業議員会 27 年度 29 年度 1 回について、三好町学術調査について、三好町学術調査について、三好町学術調査について	4月26日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長		9
29 年度事業計画・予算 29 年度事業計画・予算 29 年度事業計画・予算 28 年度映算 29 年度計画について、三好町学術調査について、三好町学術調査について、三好町学術調査について 29 年度の実施事業 6	5月5日		児童担当	絵本の読み聞かせなど	42
評議員 ついて、三好町学術調査について、三好町学術調査について、こ好町学術調査について、こ好町学術調査について、こ好町学術調査について、こ好町学術調査について、こ好町学術調査に対いて、高数に対しておいて、高数に対しておいて、高端準子・日高文・校原美和・小松真幸県立図書館職員 講師: 満強 美恵氏 においての講義とワークショップ に鳥県読書振興協議会理事会 総会 では、第一次の講義とワークショップ に鳥県読書振興協議会理事会 総会 では、第一次の講義とワークショップ に鳥県読書振興協議会理事会 に与かしギュレーション では、第一次の表別がせについての講義とワークショップ に鳥県読書振興協議会理事会 に見いました。 第一次	5月12日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事		23
6月1日 第1回徳島県図書館職員研修会 講師: 満養 (こついて) 講義 (こついて) (初任者研修」) 26 6月1日 第1回徳島県図書館職員 (前径 大口高文 大松原美和・小松真幸 県立図書館職員) (持知任者研修」) 26 6月1日 初めての方のための読み関かせ 講師: 護邉 美恵氏 (博物館講座室) (持取館講座室) (持取館講座室) (持取館書座室) (持取館書座室) (表本の読み聞かせについて の講義とワークショップ) 28 年度決算、29 年度事業 計画、県下各地の読書推進 報告 (記が市担当) 理事 (記を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記を)	5月24日			ついて、三好町学術調査に	理8 評15
横谷 女己氏 高橋律子・日高文・松原美和・小松真幸県立図書館職員 総本の読み聞かせについて 18 渡邉 美恵氏 一	5月25日	連携協力打ち合わせ会	鳴教大附属図書	び平成29年度の実施事業	6
講座(博物館講座室) 渡邉 美恵氏 の講義とワークショップ 6月21日 徳島県読書振興協議会理事会 総会 理事 一 28年度決算、29年度事業 計画、県下各地の読書推進 報告 理事 6月30日 平成29・30年度阿波学会総合 学術調査(三好市)レギュレー ション 調査役員・班長 三好市担当 調査班調査テーマ・内容の確認、地元との協議、調査 班員・日程について 25 7月7日 第2回徳島県図書館職員研修会 講節: 伊東 直登氏 川真田光子氏 調養[図書館で地域活性化に取り組む] 「図書館で役立つ手話」 18 7月26日 夏休み出前講座 「よごれた水のゆくえ」 県水・環境課職員 ほか 小学3年~6年対象 汚水処理について学ぶ 18 7月30日 ※月8日 平成29年度阿波学会総合学術 調査(三好市) 各班調查員 三好市市内調査 三好市市内調査 55 8月8日 平成29・30年度阿波学会総合 学術調査(調査地・三好市)結 同式 役員 三好市関係者 各班調查員 講師:下川清氏 各班から調査内容の説明 講演:「大いなるわが故郷 - 文化財の語る三好の歴史 - 」 45	6月1日	第1回徳島県図書館職員研修会	櫛谷 友己氏 髙橋律子·日髙文· 松原美和·小松真幸		26
総会 - 計画、県下各地の読書推進 総名 6月30日 平成 29・30 年度阿波学会総合 調査役員・班長 学術調査 (三好市) レギュレー ション 調査役員・班長 三好市担当 調査班調査テーマ・内容の確認、地元との協議、調査 班員・日程について 講師: 伊東 直登氏 「図書館で地域活性化に取り組む」「図書館で役立つ手話」 「図書館で役立つ手話」 「図書館で表記を図書を図書館で表記を図書を図書を図書を図書を図書を図書を図書を図書を図書を図書を図書を図書を図書を	6月11日				18
学術調査 (三好市) レギュレー ション 三好市担当 確認、地元との協議、調査 班員・日程について 7月7日 第 2 回徳島県図書館職員研修会 講師: 伊東 直登氏 平 光江 氏 滅 協子 氏 川真田光子 氏 川真田光子 氏 講義 「図書館で地域活性化に取り組む」「図書館で役立つ手話」 18 「図書館で役立つ手話」 7月26日 夏休み出前講座 「よごれた水のゆくえ」 県水・環境課職員 はか 汚水処理について学ぶ 汚水処理について学ぶ 汚水処理について学ぶ ラインのできる 18 「万月30日」 平成 29 年度阿波学会総合学術 調査 (三好市) 各班調査員 三好市市内調査 8月8日 平成 29・30 年度阿波学会総合学 会総合学 会 受債 学術調査 (調査地・三好市) 結 日式 受債 表班から調査内容の説明 講演:「大いなるわが故郷 - 文化財の語る三好の歴史」」 45 日本の記事 - 文化財の語る三好の歴史」	6月21日		理事 -	計画、県下各地の読書推進	理29 総44
伊東 直登 氏 「図書館で地域活性化に取り組む」 平 光江 氏 成 協子 氏 川真田光子 氏 「図書館で地域活性化に取り組む」 7月26日 夏休み出前講座 県水・環境課職員 はか 「タ3 年~6年対象 汚水処理について学ぶ 7月30日 で 平成 29年度阿波学会総合学術 調査 (三好市) 8月8日 平成 29・30年度阿波学会総合学の設明	6月30日	学術調査(三好市)レギュレー		確認、地元との協議、調査	25
7月30日 28月8日 平成 29 年度阿波学会総合学術 調査 (三好市) 各班調査員 三好市市内調査 55 8月8日 平成 29・30 年度阿波学会総合学術 学術調査 (調査地・三好市)結 団式 役員 三好市関係者 各班調査員 講師:下川清氏 各班から調査内容の説明 講演:「大いなるわが故郷 -文化財の語る三好の歴史 -」 45	7月7日	第2回徳島県図書館職員研修会	伊東 直登 氏 平 光江 氏 戒 協子 氏	「図書館で地域活性化に取り組む」	42
~ 8月8日 平成29・30年度阿波学会総合 学術調査(調査地・三好市)結 団式 役員 三好市関係者 各班調査員 講師:下川清氏 各班から調査内容の説明 講演:「大いなるわが故郷 -文化財の語る三好の歴史 -」 45	7月26日				18
学術調査(調査地・三好市)結 三好市関係者 講演:「大いなるわが故郷 一文化財の語る三好の歴史 講師:下川清氏 一	~		各班調査員	三好市市内調査	55
	8月8日	学術調査(調査地・三好市)結	三好市関係者 各班調査員	講演:「大いなるわが故郷 -文化財の語る三好の歴史	45
8月20日 夏のおはなし会 おはなし会ボラン 紙しばいや絵本の読み聞か 40 (文化の森サマーフェスティバル) ティアスタッフ せなど	8月20日	夏のおはなし会 (文化の森サマーフェスティバル)	おはなし会ボラン ティアスタッフ	紙しばいや絵本の読み聞か せなど	40

期 日 集 会 名 講師 出席者等 内 客 等 人員	## 17	佐	建品 山产土公	山 宏 筮	
(文化の森サマーフェスティバル) 図書館の事務室・吉庫など					
「子どもまなほうさい教室	8月20日	(文化の森サマーフェスティバ	児童担当	図書館の事務室・書庫など	22
9月7日 徳鳥県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会 研究・研修委員 29年度図書館大会につい てなど 7 9月10日 月10日 9月15日 おはなし会スタッフミーティン が、ことティア おはなし会 ボランティア 松原 美和 29年度おはなし会実施状 況について 11 11月3日 11月3日 11月3日 (文化の森大秋祭り) 構施 (文化の森大秋祭り) 標立図書館おはな し会ボランティア スタッフ 総本の読み関かせをはじ め、楽しいおはなしなど スタッフ・イア スタッフ・イントホールで感謝、地壁 式と、瀬戸内寂聴さんの「ビデオメッセージ」の放映、 講演会 39 11月5日 11月2日 11月2日 11月2日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 21月17日 2	8月24日		ター	聞紙によるスリッパづくり	11
第1回研究・研修委員会 てなど 11 3日 おはなし会スタッフミーティン おはなし会 ボランティア 29年度おはなし会実施状 11 3日 第3回徳島県図書館職員研修会 講師: 新屋 浩之氏 佐野 望氏 松原 美和 表本の読み聞かせをはじ 20 表本の読み聞かせをはじ 20 表本の読み聞かせをはじ 20 表本の読み聞かせをはじ 20 表述	8月29日		会長・副会長		8
グ ボランティア 況について 9月15日 第3回徳島県図書館職員研修会 講師: 新屋 浩之氏 松原 皇氏 松原 美和 講義[図書館を知ってもらうと 事例発表 11月3日 秋のおはなし会 (文化の森大秋祭り) 県立図書館おはな し会ボランティア スタッフ 総本の読み関かせをはじ め、楽しいおはなしなど め、楽しいおはなしなど あ、楽しいおはなしなど スタッフ 11月5日 開館100周年記念式典・講演会 会場: 図書館1階ギャラリー: 21世紀館イベントホール 虚晶 張田 恭嗣氏 宗祖 大会・瀬戸山市疾患さんの「ビデン・瀬戸山市疾患とんの「ビデン・瀬戸山市疾患の公民館 大会テーマ 「心を結ぶ、本との出会い」 を12月12日 会場: 近代美術館ギャラリー 大会テーマ 「心を結ぶ、本との出会い」 を257 資料・識字関係資料を展示 会場: 近代美術館ギャラリー 12月8日 協力業務実務担当者会 市町村図書館職員 なび県下の公共図書館の協力業務・相互貸借につい 協力業務・相互貸借につい 「ルーブ」 スマスの本のブックトーク、総本の読み聞かせ、工作、クリスマスの本のブックトーク、総本の読み聞かせ、工作、クリスマスの本のブックトーク、総本のおよなし会 28年度事業実績について、他 29年度事業の実施状況について、他 2月11日 大人のためのおはなし会 (文化 の森ウィンターフェスティバル) る会「出前の会」 大人のためのおはなし会 おはなしで、あったまろ 28 おはなしで、あったまろ 27 わらべうた、紙芝居、絵本 21	9月7日		研究・研修委員		7
新屋 浩之氏 佐野 望氏 探原 美和 「図書館を知ってもらうと 事例発表 11月3日 秋のおはなし会 (文化の森大秋祭り)	9月10日				11
(文化の森大秋祭り)	9月15日	第3回徳島県図書館職員研修会	新屋 浩之 氏 佐野 望氏	「図書館を知ってもらうということ」	35
会場:図書館1階ギャラリー 藤田 恭嗣氏 ベントホールで感謝状贈呈式と、瀬戸内寂聴さんの「ビデオメッセージ」の放映、講演会 講師: 大会テーマ「心を結ぶ、本との出会い」 205 12月6日 文化の森人権啓発展 (文化の森6館共催) 会場:近代美術館ギャラリー 12月8日 協力業務実務担当者会 市町村図書館職員 はか おして 257 257 27 27 27 27 27	11月3日		し会ボランティア		39
(吉野川市大会) 古野川市鴨島公民館 依岡 隆児 氏	11月5日	会場:図書館1階ギャラリー		ベントホールで感謝状贈呈 式と、瀬戸内寂聴さんの「ビ デオメッセージ」の放映、	350
~ (文化の森 6 館共催) 会場:近代美術館ギャラリー 資料・識字関係資料を展示 12月8日 協力業務実務担当者会 市町村図書館職員 協力業務・相互貸借について とくしまネットワーク図書館及び県下の公共図書館の協力業務・相互貸借について 36 12月17日 クリスマスおはなし会 四国大学学生グループ 絵本の読み聞かせ、工作、クリスマスの本のブックトーク、絵本かるたなど 27 1月12日 徳島県立図書館協議会 協議会委員 28 年度事業実績について 29 年度事業の実施状況について、他 18 2月11日 大人のためのおはなし会(文化の森ウィンターフェスティバル) とくしまお話を語る会「出前の会」 おはなしで、あったまろ~おはなしで、あったまろ~おはなしで、あったまろ~ 28 2月11日 ふゆのおはなし会(文化の森 児童担当 わらべうた、紙芝居、絵本 21	11月26日	(吉野川市大会)			205
ほか 館及び県下の公共図書館の協力業務・相互貸借について 12月17日	~	(文化の森6館共催)			257
ループ クリスマスの本のブックトーク、絵本かるたなど 1月12日 徳島県立図書館協議会 協議会委員 28 年度事業実績について29 年度事業の実施状況について、他 18 2月11日 大人のためのおはなし会(文化の森ウィンターフェスティバル) る会「出前の会」 大人のためのおはなし会なりませなしで、あったまろったまろった。 28 2月11日 ふゆのおはなし会(文化の森 児童担当 わらべうた、紙芝居、絵本 21	12月8日	協力業務実務担当者会		館及び県下の公共図書館の 協力業務・相互貸借につい	36
2月11日 大人のためのおはなし会(文化の森ウィンターフェスティバル) とくしまお話を語る会「出前の会」 大人のためのおはなし会へおはなし会へおはなしで、あったまろ〜 28 2月11日 ふゆのおはなし会(文化の森児童担当 わらべうた、紙芝居、絵本 21	12月17日	クリスマスおはなし会		クリスマスの本のブック	27
の森ウィンターフェスティバル) る会「出前の会」 おはなしで、あったまろ~ 2月11日 ふゆのおはなし会(文化の森 児童担当 わらべうた、紙芝居、絵本 21	1月12日	徳島県立図書館協議会	協議会委員	29年度事業の実施状況に	18
	2月11日				28
	2月11日	ふゆのおはなし会 (文化の森 ウィンターフェスティバル)	児童担当	わらべうた、紙芝居、絵本 の読み聞かせなど	21

期日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
2月11日	おはなし会スタッフミーティン グ	おはなし会 ボランティア	表彰伝達/30年度おはな し会実施予定について	14
2月18日	子どもの読書研修会 羽尻利門氏講演会	講師: 羽尻 利門 氏	講演: 「絵本に込める思い」	40
2月22日	徳島県図書館大会 テーマ: 「多様な世代への図書館 サービスを考える」	講師: 舟田 彰氏 講師: 川﨑 彩子氏	講演: 図書館と高齢者-川崎市立 宮前図書館「認知症の人に やさしい小さな本棚」の実 践から- 講演: ヤングアダルトサービス実 践-飯能市立図書館等の事 例から-	59
3月9日	徳島県公共図書館協議会 第2回研究・研修委員会	研究・研修委員	来年度の研修会について	8

○共催集会行事 まなびの森講演会(年8回:放送大学徳島学習センターと共催)

期日	講演	講師	内 容 等	人員
5月20日	庚午事変(稲田騒動)	柏木 良博 氏	明治維新期に阿波藩で勃発した庚午事変 (稲田騒動) について	50
6月10日	詩吟を詠って元気に なろう!	林 幸代 氏	日本の伝統文化である詩吟のやさしい入 門実践講座	53
7月8日	阿波の青石と庭園文 化	須藤 茂樹 氏	庭石として定評のある阿波の青石と庭園 文化について	56
9月2日	南海トラフの地震と 津波	馬場 俊孝氏	過去の南海地震と、最新技術を用いた地 震津波の最新システムについて	68
10月21日	ひょうたん島の橋	脇川 弘氏	水都徳島の象徴であるひょうたん島の 18橋の道路橋について	29
11月11日	『画文集 徳島慕情』 の制作過程	飯原 一夫氏	徳島の戦前・戦中・戦後の風景や風俗を 絵と文で表現した画文集の制作過程につ いて	35
12月9日	生き物の作る毒素の 世界 - 細菌毒素を中 心に -	長宗 秀明 氏	生き物の作る毒素の世界と有効利用の事 例や可能性について	46
2月17日	人類遺伝学を学ぼう!-Y染色体から日本人男性のルーツがわかる-	佐藤 陽一氏	Y染色体からみた日本人男性のルーツに ついて	70

計 407

展示事業(図書館開館百周年企画展)

期間	展 示 名	展示内容
4月25日~6月11日	「読んでみん? みんなのすすめる本 - とくしまの子どものためのブックリスト 100 コメント・P O P 受賞作品展 - 」	平成28年に徳島県教育委員会が募集した「とくしまの子どものためのブックリスト100」掲載本のコメントとPOPを、本とともに展示。
6月13日~8月6日	「本で見る徳島の 100 年」	県立図書館が開館した大正時代から現在 までの 100 年間における各分野のトピッ ク的な出来事を年表形式で紹介し、関連 する図書資料を展示。
8月8日~10月1日	「図書委員が選ぶ、図書館の本展」(徳島県学校図書館協議会高校部会との共同企画展示)	県立図書館が開館百周年を迎える節目の 年にちなんで、高校生が薦める「図書館」 が舞台の小説・絵本などを、推薦文を添 えて紹介。
10月1日~11月26日	「図書館百年ものがたり」原画 展	徳島公園の県立図書館(光慶図書館)から文化の森の県立図書館まで、図書館が生まれ育ってきた風景を人々の暮らしとともに、画家 飯原一夫氏が描いた「図書館百年ものがたり」の原画展。
11月28日~ 2018年1月28日	「ベストセラー 100 年展」	県立図書館が開館した大正6年から100 周年を迎えた平成29年までの100年間 のベストセラーを展示紹介。
2月9日~3月4日	羽尻利門原画展「花祭りにいき たい」	阿南市在住の絵本画家、羽尻利門先生の 講演会に向けて、先生の作品『花まつり にいきたい』の原画19枚(見開き原15枚、 片ページ原画4枚)を展示。
3月10日~5月6日	図書館と子ども~図書館が舞台 の本	県立図書館 100 周年記念展示の掉尾を飾り、県立図書館に所蔵されている、図書館の登場する児童書・絵本を展示し、図書館に親しむ子どもを育てる。

巡回展示

平成 29 年 7 月 7 日金 \sim 7 月 27 日金 徳島大学附属図書館 平成 29 年 9 月 1 日金 \sim 10 月 1 日日 鳴門教育大学附属図書館 平成 29 年 10 月 2 日月 \sim 11 月 5 日日 県庁ふれあいセンター 平成 29 年 10 月 17 日火 \sim 11 月 26 日日 美波町日和佐図書・資料館

他機関主催展示

期間	展示名(主催)	展示内容	場所
7/12~ 7/22	汚水処理パネル展 (徳島県水・環境課)	出前講座「よごれた水のゆくえ」の開催にあわ せ汚水処理に関するパネルを展示。	3階展示 ロビー
8/18~ 8/31	防災パネル展 (徳島県防災人材育成セ ンター)	防災人材育成センターより借り受けた新聞サバイバルグッズのパネル7枚を展示した。また、パネルで紹介されている新聞紙のスリッパ、コップ、皿を作成し、あわせて展示。	3階展示ロビー
11/21~ 12/24	臓器移植普及啓発展 (徳島県保健福祉部医療 政策課・徳島県臓器移植 コーディネーター)	徳島県臓器移植コーディネーターが選んだ臓器 移植に関する冊子・ポスター等の展示、臓器移 植に関する図書の紹介。	2階一般 資料コー ナー
3/6~ 3/25	自殺対策啓発パネル展 (徳島県保健福祉部保健 福祉政策課)	自殺予防に関するパネル展示。いのちを大切に しよう!というメッセージや、困った時の対処 法・相談先などを紹介。	1階南側

平成29年度 ミニ展示

ミニ展示コーナー(検索コーナー横)

期間	テーマ
4/11~5/14	過去の震災から学ぶ
5/16~7/2	さまざまな百年史(百周年関連ミニ展示)
$7/4 \sim 7/23$	徳島県男女協調週間(ときわプラザ紹介)
7/25~9/3	さまざまな百物語(百周年関連ミニ展示)
9/5~10/18	さまざまな<百年>本(百周年関連ミニ展示)
10/20~11/19	ストップ! 糖尿病
11/21~12/24	臓器移植普及啓発
12/26~ 1/28	新年を「新書」で!
$2/9 \sim 3/4$	ドイツ 第九 とくしま
$3/6 \sim 3/25$	自殺対策強化月間
3/27~4/15	新年度を「新書」で!

こどもの本コーナー (毎月の本)

4月	「はる」の本
5月	「お母さん・お父さん」の本
6月	「あめ」の本
7月	「さあ、でかけよう」の本
8月	「戦争」の本
9月	「つき Moon」の本
10月	「のりもの」の本
11月	「たべもの、おしごと」に感謝
12月	「いぬ」の本
1月	「お正月」の本
2月	「おに」の本
3月	はるよこい

	コーナー内ミニ展示
2/17~4/2	佐藤さとるの本
2/19~6/16	ブルーナの本
$4/2 \sim 6/24$	みんなだいすき「アンパンマン」
5/12~3/31	県立図書館 100 周年を記念して子どもの本を充実させます
6/16~8/31	平成 29 年度読書感想文課題図書(小学生の部)
6/25~7/7	七夕の本
7/11~7/9	水と環境~汚れた水のゆくえ
7/14~8/31	夏休み自由研究の本
7/14~9/7	博物館展示連携「へんな生き物」
8/9~8/31	防災 (地震) の本
9/1~10/15	祝 50 周年!絵本作家西巻茅子さん
$9/1 \sim 9/29$	阿波銀行寄贈
9/7~11/1	祝30周年くすのきしげのりの作品のひみつ
9/29~10/31	ハロウィンの本
11/1~12/4	新美南吉の世界
11/5~11/30	ウルトラパパの絵本たち(宮西達也絵本展)
11/14~12/24	クリスマスの本
12/20~ 1/28	生命保険協会寄贈図書
3/29~	祝・角野栄子

ブックトラックによるミニ展示

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
$4/7 \sim 4/29$	追悼・大岡信
4/25~5/31	お弁当
5/16~6/14	マナーアップ
$6/1 \sim 7/2$	梅雨のジメジメ対策
$6/6 \sim 6/27$	追悼・杉本苑子
$7/4 \sim 8/16$	夏の料理
7/19~8/1	追悼・日野原重明
7/26~8/14	追悼・犬養道子
8/18~10/1	『別冊太陽』で日本を旅する
10/3~11/19	秋をたのしむ
10/5~10/18	祝・ノーベル文学賞カズオ・イシグロ
11/22~12/28	年末年始
12/19~12/28	追悼・早坂暁
12/26~1/8	追悼・葉室麟
$1/5 \sim 2/25$	ぽかぽか鍋料理
2/11~2/21	追悼・石牟礼道子
2/22~3/4	追悼・金子兜太
2/27~4/1	走ってみよう
3/10~3/20	東日本大震災~あれから7年~
3/20~3/31	追悼・内田康夫
3/20~3/31	追悼・ホーキング博士

しごと応援コーナー

3/17~6/4	働き方を見直そう
6/6~8/16	ビジネスに効く読書の技!
9/6~12/24	働き方・生き方を古典に学ぶ
12/26~4/22	あの企業の一面を知る!CSRレポート展

郷土資料コーナー

2/10~4/19	活躍する徳島県人 2016年の出版物より
4/21~5/14	春へんろ
5/16~6/25	海野十三(100 周年関連ミニ展示)
6/27~7/30	モラエス(100 周年関連ミニ展示)
$8/1 \sim 8/27$	祭
8/29~10/1	防災
10/3~10/22	図書館百年ものがたり(著者の関連図書の展示)
10/24~12/28	鳥居龍蔵(100 周年関連ミニ展示)
10/28~ 2/21	郷土史家 湯浅良幸(追悼)
$1/5 \sim 3/4$	長井長義(100周年関連ミニ展示)
2/22~3/14	俳優 大杉漣(追悼)
$3/6 \sim 4/18$	活躍する徳島県人 - 2017年の出版物より

ブラウジングコーナー

4/18~7/9	本屋大賞を読みつくそう					
7/11~11/3	VS受賞作 芥川賞候補作を読みつくそう					
$7/4 \sim 7/30$	藍推進月間					
10/12~11/19	第 27 回徳島大学附属図書館学術講演会 共催展示「100 年前の四国遍路」					
$11/5 \sim 6/24$	100年たっても読みたい本(100周年関連展示)					

百周年実施事業

徳島県立図書館開館百周年関連事業として、平成29年1月より、平成30年3月まで、下記の事業を実施した。

世界のバリアフリー絵本展

日 時 平成 29 年 1 月 5 日(木)~ 14 日(土)

場 所 県立図書館 2階 エントランスコーナー

内 容 県立図書館 100 周年記念事業の一環として、国際児童図書評議会(IBBY)障害 児図書資料センターが所蔵する、世界21 か国から選書された2015年度のコレクション 50 冊余を展示した。

取 材 NHK徳島放送局

なつかしの図書館写真展

日 時 平成 29 年 2 月 10 日(金)~ 4 月 23 日(日)

場 所 県立図書館 1階 ギャラリー

内 容 県立図書館 100 周年企画展示として、大正から昭和・平成にかけての県立図書館の 外観や閲覧室の写真などを展示。開館当初からの蔵書や、昔の図書館用品も併せて 紹介した。

取 材 徳島新聞社

巡回展示 平成 29 年 7 月 7 日金 7 月 27 日金 徳島大学附属図書館

平成29年9月1日(金)~10月1日(日) 鳴門教育大学附属図書館

平成29年10月2日(月)~11月5日(日) 県庁ふれあいセンター

平成 29 年 10 月 17 日火~ 11 月 26 日田 美波町日和佐図書・資料館

ミニ展示 平成 29 年 4 月 25 日(火)~6 月 11 日(日) 鳥居龍蔵記念博物館前展示ケース

書道パフォーマンスと懸垂幕

日 時 平成 29 年 2 月 11 日(土)

場 所 県立図書館 2階 エントランスコーナー

内 容 100 周年記念イベントとして、文化の森ウィンターフェスティバル時に、四国大学 文学部 書道文化学科「かぜまーる」のメンバーに徳島県立図書館百周年記念横断 幕作成の書道パフォーマンスを依頼。約 120 名が閲覧。作品は 2 階エントランス階 段側側面に掲示。

ほかに「祝・徳島県立図書館百周年」の懸垂幕を名西高等学校 芸術科に依頼。平成 29年2月21日(火より、エントランス正面の壁面に、いずれも平成30年1月28日(日)まで掲示した。

読んでみん? みんなのすすめる本

日 時 平成 29 年 4 月 25 日(火)~ 6 月 11 日(日)

場 所 県立図書館 1階 ギャラリー

内 容 昨年度、徳島県教育委員会生涯学習課が県内の小・中・高・支援学校に募集した、 『平成28年度とくしま子ども読書推進アクション「とくしまの子どものためのブックリスト100」~コメント・POP募集~』の受賞作品を展示した。

取 材 徳島新聞社

巡回展示 平成 29 年 6 月 13 日(火)~ 11 月 12 日(日) 鳴門市立図書館、藍住町立図書館、美馬市脇町図書館 など

本で見る徳島の 100 年

日 時 平成 29 年 6 月 13 日(火)~ 8 月 6 日(日)

場 所 県立図書館 1階 ギャラリー 鳥居龍蔵記念博物館前展示ケース(ミニ展示)

内 容 県立図書館が開館した大正時代から現在までの100年間における各分野のトピック 的な出来事を年表形式で紹介し、関連する図書資料を展示した。

取 材 NHK徳島放送局、四国放送、徳島新聞社、てれびあなん、毎日新聞社、読売新聞 社徳島支局

図書委員が選ぶ、図書館の本展

日 時 平成29年8月8日(火)~10月1日(日)

場 所 県立図書館 1階 ギャラリー

内 容 県立図書館が開館 100 周年を迎える節目の年にちなんで、高校生が薦める「図書館」が舞台の小説・絵本などを、推薦文を添えて紹介した。 徳島県学校図書館協議会高校部会との共同企画展示

『図書館百年ものがたり』原画展

日 時 平成 29 年 10 月 3 日(火)~ 11 月 26 日(日)

場 所 県立図書館 1階 ギャラリー

内 容 県立図書館 100 周年を記念して発行した画文集『図書館百年ものがたり』(飯原一夫/著) から原画 29 点を展示した。

関連企画として、飯原一夫氏による、第6回「まなびの森」講演会「『画文集徳島慕情』 の制作過程」が行われた。

取 材 NHK徳島放送局、四国放送、徳島新聞社、てれびあなん、読売新聞社徳島支局

100年たっても読みたい本

募集期間 平成 29 年 7 月 4 日火~ 10 月 31 日火

日 時 (1期) 平成29年11月5日(火)~12月10日(日)

(2期) 平成29年12月12日(火)~30年1月28日(日)

(総集編) 平成 30 年 2 月 9 日金~ 6 月 24 日田

場 所 県立図書館 2階 ブラウジングコーナー

内 容 県立図書館 100 周年を記念して、県民のみなさまに読書により親しんでいただける よう、100 年たっても読みたい本を募集した。 応募いただいた推薦コメントを、一般、子どもの部門に分けて展示、1期の展示期間中に、アンケートを実施、さらに推薦コメントや推薦図書を募り、2期の展示に加えた。平成30年1月に、『100年たっても読みたい本ブックリスト』を刊行した。

取 材 共同通信社・てれびあなん・徳島新聞社 (夕刊) (阿波っ子タイムズ)

ベストセラー 100 年展

- 日 時 平成 29 年 11 月 28 日(火)~平成 30 年 1 月 28 日(日)
- 場 所 県立図書館 1階 ギャラリー
- 内 容 県立図書館が開館した大正6年から100周年を迎えた平成29年までの100年間のベストセラーを展示紹介。
- 取 材 徳島新聞社、NHK徳島放送局、四国放送、てれびあなん

羽尻利門原画展 花まつりにいきたい

- 日 時 平成30年度2月9日(金)~3月4日(日)
- 場 所 県立図書館 1階 ギャラリー
- 内 容 阿南市在住の絵本画家 羽尻利門 先生の作品『花まつりにいきたい』(あまんきみ こ・作 羽尻利門・絵 本願寺出版社)の原画 19 枚(見開き原画 15 枚、片ページ 原画 4 枚)を展示した。

また、関連企画として「県立図書館 100 周年記念企画 平成 29 年度子どもの読書 研修会 羽尻利門氏講演会」を行った。

図書館と子ども~図書館が舞台の本

- 日 時 平成30年度3月6日(火)~5月6日(日)
- 場 所 県立図書館 1階 ギャラリー
- 内 容 県立図書館に所蔵されている、図書館の登場する児童書・絵本を展示した。

一般資料コーナーでの県立図書館 100 周年関連ミニ展示

・「さまざまな百年史」

- 日 時 平成29年5月16日(火)~7月2日(日)
- 内 容 一般資料として所蔵している様々な分野の<百年史>を展示。

・「さまざまな百物語 |

- 日 時 平成 29 年 7 月 25 日(火)~ 9 月 3 日(日)
- 内 容 怪談話を中心とした<百物語>がタイトルに付く一般資料を展示。

・「さまざまな<百年>本」

- 日 時 平成29年9月5日(火)~10月18日(水)
- 内 容 タイトルやサブタイトルに < 100年>という言葉が含まれている一般資料を展示。

郷土資料コーナーでの県立図書館 100 周年関連ミニ展示

近代に活躍した阿波にゆかりのある人々について紹介する展示を行った。

・「海野十三|

日 時 平成 29 年 5 月 16 日(火)~ 6 月 25 日(日)

内 容 「日本SFの父」とも呼ばれた海野十三の著書や関連資料を展示。

・「モラエス」

日 時 平成 29 年 6 月 27 日(火)~7 月 30 日(日)

内 容 徳島で生涯を終えたモラエスの著書や関連資料の展示。

·「鳥居龍蔵」

日 時 平成 29 年 10 月 24 日火~ 12 月 28 日休

内容 徳島県が生んだ人類学・考古学・民族学の先駆者、鳥居龍蔵の著書や関連資料を展示。

・「長井長義」

日 時 平成30年1月5日金~3月4日(日)

内 容 「日本薬学会の祖」とも言われる長井長義の当館所蔵関係資料、徳島大学薬学部に 保存される貴重な資料の写真を展示。

開館 100 周年記念式典・講演会

日 時 平成 29 年 11 月 5 日(日)

場 所 二十一世紀館 1階 イベントホールほか

内 容 県立図書館1階ギャラリーで「くす玉割り」を、二十一世紀館イベントホールで、 感謝状贈呈と、瀬戸内寂聴さんからの「ビデオメッセージ」の放映、藤田恭嗣氏「電 子書籍が切り拓く未来」の講演を行った。

参加者 350 名

取 材 徳島新聞社ほか

午後は、関連イベントとして、徳島県教育委員会 生涯学習課主催の宮西達也氏「ウルトラパパの絵本と子育て」の講演会とパネルディスカッションが行われた。

百年の夢寄贈文庫

開館 100 周年を記念して創設。県内外から記念日等に託した新刊書の寄贈を募る。

平成30年3月末までに6人の方から67冊(617.219円)の寄贈があった。

取 材 朝日新聞社・読売新聞社・レポハピプレス

こども読書手帳

県立図書館 100 周年記念事業により作成、来館者および希望する県下の市町村立図書館に配布。 10,000 部作成し、7月7日から配布した。

また、八万小学校・上八万小学校・大松小学校・八万南小学校を訪問、PRを行った。

取 材 徳島新聞社・毎日新聞社

記念誌『県立図書館百年史』

開館 100 周年を記念し、これまでの 100 年の歴史をできるだけ正確に綴り、後世に長く残す記録として編集、平成 30 年 2 月に刊行。450 部作成し、県内公共図書館、県立学校、都道府県立図書館などに配布した。制作にあたって前年度から引き続き〈百周年記念誌準備ワーキンググループ〉を編成し、メンバーを中心に執筆・編集等に取り組んだ。メンバー:山本、宇山、水上、立石、小松、日高

記念誌『図書館百年ものがたり』

徳島公園の県立図書館から文化の森の県立図書館まで、図書館が生まれ育ってきた風景を人々の暮らしとともに描いた画文集を開館百周年記念として 600 冊作成し、開館 100 周年記念式典 出席者や県内公共図書館・県立学校などに配布した。

『100 年たっても読みたい本ブックリスト』

開館 100 周年記念事業「100 年たっても読みたい本」に応募された推薦コメント 528 点のうち 60 点のコメントと、推薦図書全 437 タイトルの一覧を掲載し、平成 30 年 1 月に 3,000 部発行。 来館者および県内公共図書館や小中高等学校などに配布した。

取 材 徳島新聞社、NHK徳島放送局

「とくしまデジタルアーカイブ」の構築

郷土関係の絵図・古地図デジタルデータを、デジタルアーカイブシステムADEACに掲載し、9月から利用者に提供した。また、当館所蔵資料と徳島大学附属図書館や鳴門教育大学附属図書館が公開している郷土関係のデジタルデータとの連携機能を実現した。

こどもの本の充実

小中学校の「調べ学習」や、子育てや子どもの読書推進に役立つ本を中心に、1,999,547 円で 974 冊収集し、利用に供した。







図書館百年ものがたり

<データで見る徳島県立図書館の現状>

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	
開館日数(日)	287	286	288	288	288	
入館者数(人)	433,917	431,537	447,338	430,379	420,415	* 累計 13,657,871 人、H 17から平日 火〜金は19:00 まで開館
登録者数(人)	3,751	3,478	3,806	3,687	3,291	* 累計 156,735 人 (有効登録者数)
個人貸出冊数 (冊)	630,848	593,299	610,566	586,348	599,113	
協力貸出冊数(冊)	20,065	20,157	19,996	19,282	19,344	*市町村立図書館 等への貸出(図書 館未設置は教育委 員会へ)
高等学校・支援学校図 館協力貸出冊数(冊)	2,331 (23 校)	2,229 (22 校)	2,650 (22 校)	2,197 (22 校)	2,918 (21 校)	*県立学校図書館 への貸出(利用校 数)
県外相互貸借冊数(冊) (内、貸出冊数)	1,453 (1,231)	1,600 (1,353)	1,641 (1,415)	1,473 (1,225)	1,315 (1,102)	
リクエスト件数	22,292	21,577	22,213	21,675	23,597	
レファレンス件数	14,023	13,151	12,679	11,386	10,606	
蔵書冊数 (冊)	1,175,434	1,182,650	1,194,150	1,205,128	1,193,485	*雑誌・視聴覚資料を除く
購入図書 (冊)	13,843	13,305	12,701	12,550	14,071	*雑誌・視聴覚資料を除く
雑誌購入種数	332	338	336	331	325	*官報1を含む
新聞購入種数	39	37	37	37	36	
資料充実費(千円) 内、図書購入費(千円)	35,305 29,000	35,305 29,000	37,155 30,855	37,155 30,855	39,155 32,850	*H29 は、「知の 拠点」事業を含む
人口1人あたり図書購 入費(円)	37.62	37.90	40.65	41.07	44.10	
人口1人あたり貸出数 (冊)	0.82	0.78	0.80	0.78	0.80	
人口1人あたり蔵書数 (冊)	1.54	1.55	1.57	1.60	1.60	
県人口(人)	770,831	765,247	759,047	751,280	744,837	*県人口は、「徳 島県推計人口」当 該年度4月1日時 点の推定人口

徳島県立図書館サービス向上目標(第3期)数値目標

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

	評価判定用数値	平成26年度実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	資料紹介展示回数		目標					50
①全県民サ		41	実績	55	64			
サービス	デイジー図書等の	286	目標					400
え 	所蔵点数	200	実績	350	382			
	県内公共図書館総	3,872,869	目標					4,200,000
②県内図書館	貸出冊数	3,012,009	実績	3,907,910				
図 書 館	研修参加者総数	440	目標					2,000
	(累計)	440	実績	597	1,041			
(3)	レファレンス件数	13,151	目標					16,000
③専門情報支援			実績	11,386	10,606			
報支援	パスファインダー	21	目標					50
/ 抜	作成件数		実績	31	45			
	郷土レファレンス	668	目標					1,000
保存	公開件数(累計)	.)	実績	764	842			
 4 4 4 4 7 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	児童書の貸出冊数	179,638	目標					185,000
	70年日77月四川 妖	113,000	実績	203,498	219,133			
⑤連携促進	連携事業総件数	携事業総件数 32	目標					200
促 進	(累計)※	02	実績	28	60			

*図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営状況について評価を行うとともに、 その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を 講ずるよう努めなければならない。

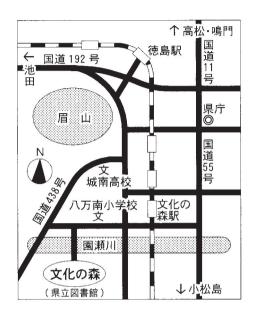
徳島県内市町村立図書館一覧

(横断検索可能館)

	図書館名	住 所	電話番号 FAX 番号	開館時間	休館日 (年末年始·特別整理期間以外)
1	徳島市立図書館	〒 770-0834 徳島市元町 1-24 アミコビル 5F・6F	088-654-4421 088-654-4423	9:00 ~ 21:00	第1火曜
2	鳴門市立図書館	〒 772-0011 鳴門市撫養町大桑島字蛭子山 49	088-685-0255 088-686-6589	9:00 ~ 19:00	火曜・第1金曜
3	生涯学習センター 小松島市立図書館	〒 773-0001 小松島市小松島町字新港 29-11	0885-32-1100 0885-32-7188	10:00 ~ 18:00	月曜 第3金曜
4	阿南市立 阿南図書館	〒 774-0011 阿南市領家町本荘ケ内 121	0884-23-2020 0884-23-6814	9:00~18:00 土·日9:00~17:00	月曜・祝日・月末
5	那賀川図書館	〒 779-1235 阿南市那賀川町苅屋 308-1	0884-42-3111 0884-42-3299	10:00 ~ 18:00	月曜・祝日・月末
6	羽ノ浦図書館	〒 779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ 16-3	0884-44-2100 0884-44-2099	10:00 ~ 18:00	月曜・祝日の翌火曜 月末 (土日月の時金曜)
7	吉野川市立 山川図書館	〒 779-3404 吉野川市山川町北島 19-7	0883-42-5222 0883-26-4101	10:00 ~ 18:00	月曜・祝日・月末
8	川島図書館	〒 779-3303 吉野川市川島町桑村 883-1	0883-25-3141 0883-25-5382	10:00 ~ 18:00	水曜・祝日・月末
9	阿波市立 阿波図書館	〒 771-1703 阿波市阿波町東原 167-1	0883-35-5101 0883-35-5109	9:00 ~ 19:00 9:00~18:00 (10-3月)	月曜·月末
10	市場図書館	〒 771-1602 阿波市市場町市場字上野段 212-2	0883-36-6455 0883-36-6456	9:00 ~ 19:00 9:00~18:00 (10-3月)	月曜・月末
11	土成図書館	〒 771-1506 阿波市土成町土成字漆畑 220	088-695-5385 088-695-5515	9:00 ~ 19:00 9:00~18:00(10-3月)	月曜・月末
12	吉野笠井図書館	〒 771-1402 阿波市吉野町西条字大内 13	088-696-4686 088-696-5139	9:00 ~ 19:00 9:00~18:00(10-3月)	月曜・月末
13	美馬市立図書館	〒 779-3602 美馬市脇町大字猪尻字西分 116 番地 1	0883-53-9666 0883-53-6190	9:00 ~ 19:00	火曜 第3木曜
14	三好市 中央図書館	〒 778-0002 三好市池田町マチ 2183 番地	0883-72-2781 0883-76-0514	10:00 ~ 19:00	水曜
15	井川図書館	〒 779-4802 三好市井川町岡野前 64	0883-78-4311 0883-78-4305	10:00 ~ 19:00	火曜
16	勝浦町図書館	〒 771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田 2-1	0885-42-2300 0885-42-4900	9:30 ~ 18:00	月曜・月末
17	佐那河内村立 図書館	〒 771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺 71-1	088-679-2817 088-679-2173	8:30 ~ 17:00	土曜・日曜・祝日
18	那賀町 木頭図書館	〒 771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ 40	0884-68-2226 0884-68-2566	9:30 ~ 18:00 ±9:30~17:00	日曜・祝日(5/4除く)
19	美波町日和佐 図書・資料館	〒 779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天 5-1	0884-77-2733 0884-77-0845	10:00 ~ 18:00 土·日 10:00~17:00	月曜・祝日
20	牟岐町立図書館	〒 775-0004 海部郡牟岐町大字川長字新光寺 82	0884-72-2300 0884-72-3301	10:00 ~ 18:00	月曜·第3木曜 祝日
21	海陽町立 海南図書館	〒 775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町 38-1	0884-73-3591 0884-73-3551	10:00 ~ 18:00	月曜・祝日・月末
22	宍喰図書館	〒 775-0501 海部郡海陽町宍喰浦字宍喰 375	0884-76-1030 0884-76-1040	10:00 ~ 18:00	月曜・祝日・月末
23	松茂町立図書館	〒 771-0220 板野郡松茂町広島字四番越 6-1	088-699-8722 088-699-8784	10:00 ~ 18:00	月曜・月末
24	北島町立図書館	〒 771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田 91	088-698-1100 088-698-1180	10:00 ~ 18:00	月曜・第3木曜 祝日 (土日の時は開館)
25	藍住町立図書館	〒 771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊 175-2	088-692-0070 088-692-0170	10:00 ~ 18:00	月曜·祝日 第3木曜
26	板野町 文化の館図書館	〒 779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷 13-1	088-672-5888 088-672-5999	10:00 ~ 18:00	月曜・祝日・月末
27	東みよし町立 図書館	〒 779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手 51	0883-82-1150 同上	10:00~18:00 (4-9月) 10:00~17:30 (10-3月)	火曜・木曜 祝日・月末 (土・日除く)

徳島県立図書館案内図

- JR徳島駅から/徳島市営バス・徳島バス利用(約25分)
- JR牟岐線文化の森駅から/徒歩(約35分) バス利用(7分)



開館時間

- ・火曜日から金曜日まで……………………………………………午前9時30分から午後7時まで
- ・土曜日、日曜日及び祝日 (振替休日を含む。)…………午前9時30分から午後5時まで

休 館 日

- · 月曜日
 - ただし、国民の祝日(振替休日含む)のときは、その後最も近い休日でない日
- ・毎月第3木曜日(国民の祝日にあたるときは、その翌日)
- ·年末年始
- ・特別整理期間(年間10日間以内、例年1月下旬から2月上旬まで)
- ·臨時休館日

徳島県立図書館 年報 平成30年度版

発行日 平成30年6月1日

発行人 〒 770-8070

徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園 徳島県立図書館 館長 町田 豊治

T E L (088) 668 - 3500 (%)F A X (088) 668 - 6904